

# 年報

NO.15

昭和59年度  
佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館



佐賀県立博物館・佐賀県立美術館 全景

## 目

## 次

はじめに.....	4	〔佐賀県立美術館〕	
		美術館の沿革.....	43
〔佐賀県立博物館〕		美術館日誌.....	43
博物館の沿革.....	5	規模及び施設.....	43
博物館日誌.....	5	59年度歳出予算.....	44
規模および施設.....	6	○事業の実施状況.....	45
組織・59年度職員名簿・人事異動.....	6	1. 常設展.....	45
59年度歳出予算.....	7	2. 企画展.....	46
○事業の実施状況.....	7	3. 観覧状況調べ.....	54
1. 常設展.....	7	4. ホール・画廊・研修室催しもの.....	56
2. 企画展.....	13	○資料の概要.....	57
3. 観覧状況調べ.....	20	1. 購入資料.....	57
4. 普及活動.....	22	2. 寄贈資料.....	58
5. 資料調査.....	22	3. 寄託資料.....	59
○資料の概要.....	26	4. 管理換え資料.....	60
1. 購入資料.....	26	佐賀県博物館及び美術館協議会.....	60
2. 寄贈資料.....	26	60年度職員名簿.....	60
3. 寄託資料.....	28	案内図.....	62
4. 購入・寄贈図書.....	30		
○茶室「清恵庵」の管理と運営の概況.....	42		
1. 茶室の規模および施設.....	42		
2. 茶室の利用状況.....	42		
3. 茶道具備品.....	42		

## は じ め に

このたび、昭和59年度の当博物館・美術館の事業概要をとりまとめました。当59年度は、昭和45年にオープンした博物館、昭和58年にオープンした美術館、それぞれ14年目、2年目と運営年数の差はありますが、関係各位のご支援とご協力によって資料も充実し、文化立県の一翼を担っての成果をあげることができるようになりました。関係各位へ深く感謝申し上げます。

さて、昭和59年度の博物館の事業は常設展では「佐賀県の歴史と文化展」をテーマに佐賀県の自然と風土を背景にして、我々の郷土において人々はいかに生き、どのような文化を育ててきたかを自然史・考古・歴史・美術・工芸・民俗の各部門に分けて系統的に理解していただくように努めました。さらに、企画展においては、今まで比較的に手薄であった中世に焦点をあてて「肥前の中世美術展」を開催しました。とくに肥前が中世において「文化の十字路」としての地理的環境から、仏教を中心に、すぐれた文化を持っていたことを確かめることができたことは大きな成果であり、今後の研究の進展に大きく貢献するものと思われまゝ。なお、外部との連携企画展については「中里無庵・太郎右衛門父子展」で郷土の生んだ大陶芸家の回顧展を開き、恒例の「理科作品展」では将来ある高・中・小学生達の新鮮な研究成果を展示して今後に期待をつなぎました。また「よみがえれ佐賀展」など県の文化向上をめざす好企画にも利用いただきました。

いっぽう、美術館では常設展の「佐賀県の歴史と文化展」の一環として佐賀県が誇れる近代美術の流れを一望できるように百武兼行・久米桂一郎・岡田三郎助・小代為重・高木背水などの作品を系統的に並べ、彫塑では古賀忠雄、工芸では中里無庵などのレベルの高い作品を展示している。企画展については「日本の美」を東京国立博物館の資料による巡回展として開き、縄文時代から江戸時代までの日本の代表的な美術品を紹介した。さらに外部との連携企画展では「伝統工芸30年の歩み展」があり、重要無形文化財保持者や日本伝統工芸展の歴代の受賞者の作品を集めたレベルの高いものであった。伝統ある「佐賀美術協会展」、開かれた美術展をめざす「佐賀県美術展」「光風会展」「二科展」「独立C・S展」「東光会展」「久富邦夫回顧展」などと活力ある美術界の動向を反映しての企画が並び、「青華展並びに九州正筆会展」「書作家協会展」「七夕書道展」「佐賀新聞学生書道展」などの書道、「九州新工芸展」「佐賀県写真協会展」など開かれて、美術館ホール・画廊・研修室の活用とともに新しい美術館が県民の間に定着しつつあることを感じさせた。しかしまだ日も浅く、その運営にも不十分な点も多く、今後は博物館とともに資料の充実、研究体制の強化、普及活動やサービス活動に一段の努力を重ね、佐賀県文化の活性化のための拠点として県民に親しまれるように精進して行く所存であります。

なお、当年度は、佐賀出身の絵師 周幽齋夏龍の「耕織図屏風」、岡田三郎助の大作「富士山」を購入できたことは、資料の充実という点から特筆すべきことであります。

また、当年度も成松家資料をはじめ多くの資料をご寄贈いただきありがとうございました。鍋島家資料をはじめとする貴重な資料、市村家ご寄贈の茶室「清恵庵」の管理・運営にはさらに努力してまいります。

今後とも、当館の諸事業に対し、ますますのご支援とご指導をお願い申し上げます。

昭和 60 年 6 月 1 日

佐賀県立博物館長 大塚正道  
佐賀県立美術館長

昭和59年度

佐賀県立博物館

## 博物館の沿革

昭和26年 4月 1日	佐賀県文化館設置条例制定、佐賀県文化館が設置される。
昭和35年 4月 1日	佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第 一条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。 昭和36年、新博物館建設の気運が高まり、41年度に調査費計上。 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和43年度に設計を委託し建設計画に着手し、昭和43年度から昭和45年度にわたる継続事業として建設することとなる。
昭和44年 1月21日	佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
昭和45年 3月31日	佐賀県文化館設置条件廃止。
昭和45年 4月 1日	佐賀県立博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
昭和45年 7月 1日	佐賀県立博物館完工。佐賀県立博物館設置条例施行。博物館開設準備事務局廃止。博物館職員の発令、館長以下18名。佐賀県立博物館協議会条例施行。
昭和45年 7月16日	佐賀県立博物館協議会委員を任命。
昭和45年10月14日	佐賀県立博物館開館記念式典挙行。
昭和47年 3月 4日	鉄器減圧樹脂含浸装置を研究室に設置。
昭和48年10月10日	茶室「清恵庵」を、市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。 茶室落成式
昭和50年 9月20日	古賀忠雄作「岬の男」(ブロンズ)前庭に据付完成。
昭和51年 9月18日	皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
昭和51年10月22日	天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館。
昭和52年12月12日	佐賀藩鋳造鉄製「カノン砲」(復元)玄関前据付完了。
昭和53年 5月 4日	常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
昭和53年11月 5日	茶室「清恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。出席者約1,500名。
昭和54年 7月19日	入館者総数100万名に達する。
昭和55年 4月23日	古賀忠雄氏遺作(232点)遺族より寄贈。
昭和56年 4月17日	山口猛彦氏遺作(34点)遺族より寄贈。
昭和57年 5月10日	鍋島則子氏より工芸品(85点)寄贈。
昭和58年 2月 7日	御厨俊江氏より御厨純一氏の作品(28点)寄贈。

(以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。ここには点数の特に多いもののみを記載しました。)

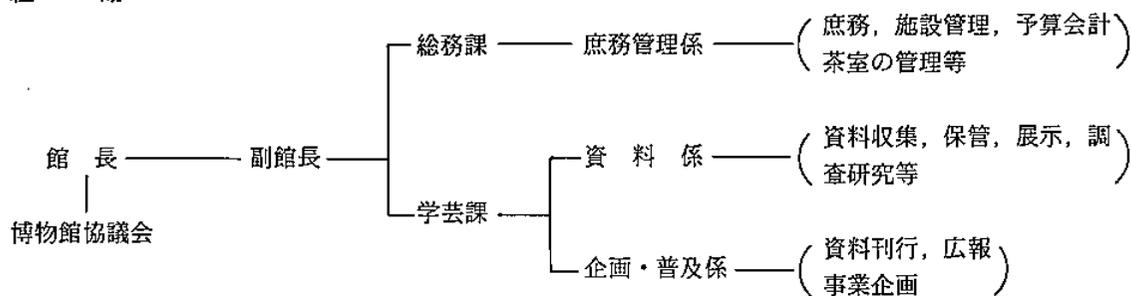
## 博物館日誌(昭和59年度)

4月 1日	職員人事異動	11月28日	佐賀県美術展(12月9日迄)
4月 3日	常設展「佐賀県の歴史と文化展」	2月 2日	肥前の中世美術展(3月10日迄)
6月 5日	常設展「新収蔵品展」		講演会「九州の中世美術と肥前」
6月22日	博物館・美術館協議会		講 師 九州大学文学部 平田 寛先生
7月25日	博物館実習開講式(8月4日迄)	2月16日	講演会「請来作品を通して見た肥前の美術」
9月19日	理科作品展(9月26日迄)		講 師 九州大学文学部
10月20日	中里無庵・太郎右衛門父子展		菊竹淳一 先生
11月11日	佐賀県高等学校芸術祭美術書道展 (11月18日迄)	3月 9日	博物館・美術館協議会

## 規模および施設

構造	鉄筋コンクリート造	3階建	中展示室	136.0 m <sup>2</sup>
規模	敷地面積	30,926 m <sup>2</sup>	収蔵庫並整理室	524.0 m <sup>2</sup>
	建築面積	2,149.1 m <sup>2</sup>	研究室	66.0 m <sup>2</sup>
	延床面積	4,638 m <sup>2</sup>	館長室・応接室	60.0 m <sup>2</sup>
	(茶室) 構造	木造平屋建	事務室	80.0 m <sup>2</sup>
規模	床面積	57.35 m <sup>2</sup>	資料調査室	64.0 m <sup>2</sup>
			撮影暗室	24.0 m <sup>2</sup>
施設			車庫	56.0 m <sup>2</sup>
ロビー (案内所・常設展受付)		349.5 m <sup>2</sup>	荷解場	86.0 m <sup>2</sup>
1号展示室		193.6 m <sup>2</sup>	電気室	48.0 m <sup>2</sup>
2号展示室		352.0 m <sup>2</sup>	ボイラー室 (制御室を含む)	181.0 m <sup>2</sup>
3号展示室		484.0 m <sup>2</sup>	その他	1,410.4 m <sup>2</sup>
大展示室		523.5 m <sup>2</sup>		

## 組織



## 職員名簿 (昭和59年4月1日現在)

館長	大塚正道	技術員	戸川内匠
副館長	西村正剛	非常勤嘱託	穂月勝次郎
〃	手塚静雄	学芸課長	尾形善醇一朗
総務課長	池田清八	資料係長	森口健二
庶務管理係長	秀島智洋	主査	藤治章
主事	山田美沙子	学芸員補	宇井尚寿郎
主事	中村誠	学芸員	福井四郎彦
主事	石田保生	非常勤嘱託	浜野佐輝
技師	古川宣明	企画普及係長	志佐誠一
事務員	坂井卓次	学芸員	松本博文
事務員	小石武彦	学芸員	大隈博
		主事	森永

## 人事異動 (昭和59年4月1日付)

### ○転入

館長	大塚正道 (教育次長より)
副館長	西村正剛 (図書館総務課長より)
庶務管理係長	秀島智洋 (唐津農林事務所庶務係長より)

### ○転出

副館長	首藤留秋 (総務部統計課長へ)
主事	野田布見 (佐賀保健所へ)

昭和60年3月31日付

○退職	副館長	西村正剛
	副館長	手塚静雄

昭和59年度歳出予算（博物館）

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(博物館費)		4. 企画展費	7,404
1. 博物館運営費	46,875	肥前の中世美術展	7,354
管理運営費	45,994	理科作品展	50
会議及び研修費	559	5. 常設展費	1,477
博物館協議会費	322	6. 普及活動費	59
2. 資料整備費	15,621	研究講座費	27
資料購入費	7,103	巡回展示費	32
資料整理費	8,368	7. 資料刊行費	555
資料収集費	150	8. 茶室管理費	209
3. 調査研究費	915	9. 施設整備費	68,845
研究費	175		
調査費	740	計	141,960
次年度調査費	108		
歴史美術調査費	87		
考古資料調査費	95		
調査刊行費	450		

事業の実施状況

1 昭和59年度 常設展（博物館）

第一期 4月1日～10月14日

第二期 3月23日～3月31日

I ふるさとの自然＜第一期＞＜第二期＞

(中展示室)

(1) 佐賀県のおいたち

㊦ 佐賀県の地質図

中世代白亜紀の古地理図、新生代古第三紀後期の古地理図、佐賀県地質図、佐賀県の地質層序表、佐賀県の地質パネル

㊧ 化石

コレニア（石灰藻）、シダ化石、イチョウの仲間、トクサの仲間、シキシマバス、光鱗魚ヨコヤマオウムガイ、ナウマン象の白歯、ウニ(2)、魚類(4)、ハ虫類(1)、サメの歯、斧足類(9)、腹足類(1)、種子植物(4)

㊨ 県内の岩石

花崗岩、けい石（石英）、カリ長石、安山岩球状閃緑岩（ナボレオン石）、火山弾、陶石（流紋岩）、砂岩、石灰岩（大理石）

(2) 佐賀県の野鳥

サギ科 コサギ、クロサギ、アオサギ

ガンカモ科 コハクチョウ、ツクシガモ、マガモ  
カルガモ、トモエガモ、ホオジロガモ

キジ科 キジ、

ツル科 マナヅル

クイナ科 ツルクイナ

ハト科 キジバト、アオバト

フクロウ科 トラフズク、アオバヅク、フクロウ

カワセミ科 ヤマセミ、アカショウビン、カワセミ

キツキ科 アオゲラ、アカゲラ

ヒヨドリ科 ヒヨドリ

ヒタキ科 ツグミ

カラス科 カケス、カササギ、コクマルガラス  
ハシボンガラス

野鳥写真 6点

(3) カブトガニの生育と分布

カブトガニの卵（写真）、幼生5点、成体4点

(4) 模型等

- ・エヒメアヤメの模型
- ・ムラサキスイショウ（紫水晶）
- ・タイラノザウルスの生態模型
- ・ヤクスギの標本
- ・佐賀県の地形模型
- ・有明海の干潟と干拓
- ・生物の系統樹
- ・佐賀県森林の垂直分布
- ・地域の特徴を表わす植物群別種類
- ・佐賀の天然記念物の写真 9点

II 原始・古代の郷土

＜第一期＞（1号展示室）

(1) 石器を使った人びと -旧石器時代-

- ① ナウマン象のキバ（瀬戸内海）  
ナウマン象の歯（発見地不明）  
カモシカの角（瀬戸内海）
- ② 石器に使用された原石  
サヌカイトの原石（多久市鬼の鼻山）  
黒曜石の原石（伊万里市腰岳）（大分県姫島）
- ③ 旧石器時代末期の各種石器  
石刃・刃器・細石刃・細石核（伊万里市白蛇山）、石刃（伊万里市腰岳）、台形石器・ナイフ形石器（鎮西町切立）、尖頭器（多久市茶園原）

(2) 土器を使うくらし -縄文時代-

- ① 縄文時代早～前期の土器  
貝殻押圧文土器・楕円押型文土器・山形押型文土器・爪形文土器（伊万里市白蛇山）、楕円文土器（西有田町盗人岩）、曾畑式土器（伊万里市金剛島）
- ② 縄文時代早期の石器  
尖頭状石器（西有田町伊古石）、石斧・石槍（西有田町盗人岩）
- ③ 縄文時代中期の土器  
土器の口縁部把手・補修孔のある無文土器（西有田町坂の下）、青森県出土の中期土器
- ④ 各種の石器  
磨製石鎌（西有田町内）、剝片鎌（伊万里市白蛇山・西有田町盗人岩）、打製石鎌（西有田町伊古石・同盗人岩）、扁平打製石斧（多久市天山）、磨製石斧（伊万里市白蛇山・西有田町坂の下）

⑤ 縄文時代後期の土器

御領系土器（伊万里市源平岩）、磨消縄文系土器（西有田町坂の下）

⑥ 縄文時代晩期の土器

深鉢・鉢・浅鉢・壺（長崎県原山）  
壺・高坏・異形土器（佐賀市丸山）

※ <第二期>に新た展示した資料

彩文壺・石庖丁・石鎌・磨製石剣（各レプリカ）・炭化米（唐津市菜畑）

(3) 水稻農耕社会の発展 -弥生時代-

① 土器の変遷

- ・前期の土器 壺（肥前町大橋）、重弧文小壺（大和町七ヶ瀬）、壺・甕（中原町町南）  
壺の各種の装飾文様（彩文・ヘラ描重弧文・貝殻羽状文）
- ・中期の土器 朝鮮系無文土器の粘土帯口縁甕・牛角形把手付壺・高坏・鉢（三日月町土生）、蓋付甕・高坏（同土生）、甕・鉢（東脊振村西前田）、甕・壺・免田式壺（東脊振村二塚山）、丹塗高坏（神埼町利田柳）、甕（北方町柘島山）
- ・後期の土器 壺・ジョッキ形土器（基山町千塔山）、高坏・器台・こしき（大和町惣盛）

② 農工具の発達

- ・大陸系磨製石器 太形蛤刃石斧（小城町内）  
袂入石斧（三日月町土生）、扁平片刃石斧（唐津市半田・三日月町土生）、石庖丁（県内各地）
- ・鉄製農工具 鉄斧・ノミ・鋤先（基山町千塔山）、鉄鎌（基山町城の上）

③ 弥生人の装身具

- ・貝製品 南海産のゴホウラ製腕輪・イモガイ製腕輪・オオツタノハ製腕輪・イモガイ製垂飾品（呼子町大友）
- ・ガラス製品 小玉・管玉（東脊振村二塚山）
- ・碧玉製品 勾玉・管玉（北方町柘島山）

④ 副葬品等にもみる青銅器（朝鮮・中国製品と国産品）

- ・細形銅剣（三田川町瓢箪塚下）、細形銅矛鋒部（三日月町下久米）、細形銅戈（北茂安町北尾）
- ・連弧文清白鏡・昭明鏡・獸帯鏡・連弧文鏡（東脊振村二塚山）
- ・小型仿製鏡類（東脊振村二塚山・佐賀市柴尾）

尾橋下流・中原町天神・三田川町萩原)

⑤ 鉄製武器の発達

- ・素環頭太刀・剣(東脊振村横田), 素環頭刀剣・矛(東脊振村二塚山), 剣(基山町久保田), 戈(神埼町二子)

⑥ 弥生人のまつり

- ・丹塗筒形器台等(北茂安町宝満谷・神埼町利田柳・三根町本分貝塚)
- ・中広形銅矛(三田川町目達原桜馬場・武雄市玉江), 中広形銅矛鋳型(鳥栖市安永田)
- ・銅鐸鋳型(鳥栖市安永田)
- ・鐸形土製品(神埼町川寄若宮・同川寄吉原・同利田柳)
- ・土製勾玉・玉等(東脊振村二塚山)

※ <第二期>に新たに展示した資料

- ・磨製石剣(神埼町荒壁目), 細形銅戈(北茂安町東尾), 昭明鏡・四蛇鏡(東脊振村三津永田), 流雲文縁方格規矩四神鏡・方格規矩渦文鏡(唐津市桜馬場), 連弧文鏡(上峰村一本谷), 中細形銅戈(伝小城町牛尾神社) 銅鐸鋳型・銅矛鋳型レプリカと成品(鳥栖市安永田), 壺棺(中原町姫方), 甕棺(上峰村切通・二塚山東山)

4) 古墳が築かれたころ -古墳時代-

① 4世紀~5世紀前半頃の古墳の副葬品

- ・鎌・斧・鉈・雛形鉄器(浜玉町経塚山古墳)
- ・鏃・剣(東脊振村西一本杉古墳)
- ・三角縁三神三獣鏡(伊万里市空路寺古墳)
- ・石釧(神埼町朝日古墳)
- ・土師器類(東脊振村五本谷)

② 須恵器

- ・坏・甗(佐賀市六本黒木古墳)
- ・高坏(大和町男女神社古墳)
- ・坏・横瓶・高坏・皮袋形土器(東脊振村松葉)
- ・甗(鳥栖市東十郎古墳群)
- ・甗・筒形器台(基山町上野古墳)

③ 丸山古墳群(佐賀市)出土品

- ・剣・鉈・鎌・刀子・砥石
- ・琴柱形石製品・紡錘車・勾玉・管玉・小玉

④ 花納丸古墳(佐賀市)出土品

- ・変形文鏡・三環鈴・管玉

⑤ 武器・武具・馬具類

- ・蛇行状鉄剣・蛇行状鉄鉈(上峰村船石)
- ・直刀(白石町新開古墳・大和町久池井一本松

古墳・神埼町猿獄古墳・佐賀市藤付)

- ・短甲(白石町一の谷古墳)
- ・杏葉・雲珠・辻金具(小城町一本松古墳付近)

⑥ 田代太田古墳(鳥栖市)石室模型

田代太田古墳奥壁壁画復元模写図

⑦ 県内出土の装身具類

※ <第二期>に新たに展示した資料

- ・鋤先・鉈・斧(東脊振村西一本杉古墳)
- ・素環頭刀(白石町兜塚)
- ・鏃(白石町兜塚)
- ・斧・鎌・はさみ・たがね・あてびし・鉄鉈(鳥栖市東十郎古墳群)
- ・手斧・鉈(佐賀市山王山古墳)
- ・四獣鏡(神埼町朝日古墳)
- ・貝製腕飾(基山町上野古墳)
- ・石枕(佐賀市熊本山・箱式石棺)
- ・円筒埴輪(鳥栖市岡寺古墳)
- ・二重口縁壺(東脊振村西一本杉古墳・佐賀市銚子塚古墳)
- ・王塚古墳(福岡県桂川町)壁画模写図
- ・竹原古墳(福岡県若宮町)壁画模写図

(5) 律令の時代 -奈良時代-

- ・肥前国府出土瓦
- ・国庁推定復元図
- ・木簡(平城京出土肥前国関係)レプリカ
- ・肥前国分寺
- ・国分寺推定伽藍配置図
- ・肥前の古代寺院と瓦
- ・石鈿
- ・墨書土器

III 郷土の仏教美術

<第一期>(2号展示室)

- ・聖観音立像(三田川町東妙寺蔵, レプリカ)
- ・木造天部形立像(久保田町三学寺蔵)
- ・絹本着色両界曼荼羅図(多久市妙覚寺蔵)
- ・紙本墨画淡彩東妙寺古図(三田川町東妙寺蔵)
- ・紙本墨書大般若経断簡(佐賀市正法寺蔵)
- ・絹本着色阿弥陀八大菩薩像(武雄市広福護国禅寺蔵)
- ・絹本墨画淡彩楊柳観音像(武雄市広福護国禅寺蔵)
- ・紙本墨書妙法蓮華経(唐津市鏡神社蔵)
- ・仏法堤経塚出土品(滑石製外筒, 鋳銅製経筒)
- ・山崎経塚出土品(陶製外筒, 鋳銅製経筒, 草花

双雀鏡，ガラス玉)

- ・セセリ谷経塚出土品(滑石製外筒，鍍銅製経筒  
天永三年銘写経)

※ 郷土の仏教美術 <第二期> (2号展示室)

- ・単弁八葉蓮華文軒丸瓦(晴気庵寺跡出土)
- ・三重弧文軒平瓦(晴気庵寺跡出土)
- ・単弁八葉蓮華文軒丸瓦(大願寺庵寺跡出土)
- ・三重弧文軒平瓦(大願寺庵寺跡出土)
- ・複弁八葉蓮華文軒丸瓦(国分寺跡出土)
- ・均整唐草文軒平瓦(国分寺跡出土)
- ・梵鐘(千葉県成田市出土，レプリカ)
- ・聖観音立像(三田川町東妙寺蔵，レプリカ)
- ・紙本墨書大般若経断簡(佐賀市正法寺蔵)
- ・紙本墨書大般若経(伊万里市本覚寺蔵)
- ・木造阿弥陀如来坐像(久保田町三学寺蔵)
- ・木造地藏菩薩坐像(大和町高城寺蔵)
- ・絹本着色十王図(大和町萬壽寺蔵)

IV 近世のあゆみ

<第一期> (2号展示室)

(1) 肥前名護屋城

肥前名護屋城図屏風(模写)，朝鮮国礼曹諭  
告文

(2) 肥前の一統

龍造寺隆信画像，烈文打出二枚胴具足，鍋島  
直茂画像，直茂自筆書状，鍋島勝茂自筆書状

(3) 藩政期の文教

山本常朝筆山水自賛画，葉隠問書，鍋島光茂  
書状(乳母・小倉女宛)，愚見集，山本常朝  
垂訓碑(写真)，鬼丸聖堂の三体像，観願荘  
図，天縦殿扁額，多久聖廟(写真)，手習本  
天神机，書見台，藩政期の文教一覧パネル

※ 近世のあゆみ <第二期> (2号展示室)

(1) 肥前の一統

龍造寺隆信・政家・高房画像，龍造寺隆信感  
状，龍造寺隆信着到，紺糸威桶側二枚胴具足  
(伝隆信着用)，黒漆塗萌黄糸威五枚胴具足  
(成松信勝着用)，大友親貞・討取りの槍，  
鍋島直茂画像，同勝茂画像，鍋島直茂自筆書  
状，勝茂自筆書状

(2) 肥前名護屋城の築城

肥前名護屋城図屏風(模写)，慶長の役陣立  
て，忠烈録(朝鮮側史料)，朝鮮国礼曹諭告  
文

(3) 長崎警備

長崎警備図屏風(宝永2年)，同屏風(正保  
4年)，長崎港図(享和2年)

(4) 幕末の対外情勢

レザノフ来航図，フェートン号図，幕末の対  
外関係図(パネル)

(5) 鍋島直正の登場

鍋島直正肖像，忠宣公蘭艦乗込絵図(古川松  
根筆)，蝦夷開拓勅書

(6) 反射炉の築造

築地石火矢鑄立方図(陣内松齡筆)，直正公  
品川砲台巡視の図(松齡筆)，精煉方絵図  
(松齡筆)，佐賀藩製造砲弾，カノン砲雛型  
築地大銃製造方，多布施鑄立方，銃砲製造記  
(谷口弥右衛門扣)，精煉方研究調書原本訳  
書，精煉方使用真空ポンプ，精煉方実験用具  
佐賀藩製造蒸気車雛型，同蒸気船雛型

(7) 長崎海軍伝習所

長崎海軍伝習所の図(松齡筆)，観光丸模型  
佐賀藩三重津海軍所の図(松齡筆)

(8) 藩政期の文教

はがくれの成立-山本常朝筆山水自賛画，葉  
隠写本(孝白本外)，鍋島光茂書状(乳母宛)  
聖堂と藩校・寺子屋-天縦殿扁額，聖堂三体  
像，観願荘図

弘道館-古賀精里画像，古賀穀堂画像，弘道  
館教科書

(9) 近世より近代へ

佐賀の七賢人(パネル)，鍋島直正・島義勇  
佐野常民・副島種臣・大木喬任・江藤新平・  
大隈重信

V 郷土の近世絵画 (2号展示室)

<第一期のうち4月10日~7月29日>

- ・草場颯川 古梅図(古賀精里賛) 1幅
- ・武富圯南 古梅図 1幅
- ・広波心海 鳳凰図 1幅
- ・成富椿屋 花鳥図 1幅
- ・古川松根 紀貫之像 1幅
- ・ // 花鳥葎雁図屏風 2曲1隻
- ・高柳快堂 山水図屏風 6曲1隻

※ 郷土の先覚者書画(2号展示室)

<第一期のうち7月31日~10月14日>

- ・古賀穀堂(一行書) 枝吉神陽(二行書)
- ・鍋島直正(二行書) 副島種臣(三行書)

- ・島 義勇（三行書） 江藤新平（三行書）
- ・大木喬任（二行書） 佐野常民（二行書）
- ・谷田藍田（二行書） 小笠原長行（二行書）

## VI 郷土の工芸

＜第一期＞（2号展示室）

- ・古唐津陶器  
三島唐津花文鉢（武雄古唐津系）、二彩唐津菊花文瓶（〃）、絵唐津字文瓶（〃）、絵唐津笹文水指（小峠窯）
- ・肥前磁器創業期磁器  
天狗谷古窯出土染付松梅文瓶、同青磁彫花文瓶 錆釉瓢箪文輪花皿、染付葡萄文小壺、浮彫菊散文瓢箪形瓶
- ・古伊万里様式磁器  
染錦唐獅子牡丹莨図三方割鉢、染付祥瑞手唐人図猪口、染付楼閣山水図瓢箪瓶、色絵欧字文輪花鉢（寛政年製銘入）
- ・柿右衛門様式磁器  
色絵竹虎図輪花皿、染錦鶏図龍唐草文角皿、染付牡丹唐草文輪花鉢、色絵面取菊牡丹文徳利、色絵吉祥文輪花皿
- ・鍋島藩窯様式磁器  
染付青磁青海波唐花文皿、染付花籠図皿、青磁橘陽刻文大皿、色絵毘沙門亀甲桐文皿、色絵桜樹文皿、染付唐花文皿

※ 郷土の工芸 ＜第二期＞（3号展示室）

### (1) 肥前の陶磁器

- ・古唐津陶器  
飴釉叩き壺（飯洞甕窯）、絵唐津柳文向付（内田皿屋窯）、絵唐津笹文壺（小峠窯）、黒釉船徳利（藤ノ川内窯）、飴釉叩き三耳付葉茶壺（甕屋ノ谷窯）
- ・肥前磁器創業期磁器  
染付松梅文瓶（天狗谷窯）、青磁彫花文瓶（天狗谷窯）、染付雀図皿（百間窯）、染付花蝶文皿、染付山水四方擧文皿
- ・古伊万里様式磁器  
色絵芙蓉手鳳凰文鉢、染錦花鳥図透彫鉢、染錦美人楼閣図大皿、色絵花卉文水瓶、染錦唐子図手付瓶(2)、色絵婦人像、
- ・柿右衛門様式磁器  
色絵花蝶八橋図壺、色絵桜菊文輪花鉢、色絵松竹梅図輪花鉢、色絵花蝶図輪花皿、染付芦雁図輪花皿

- ・鍋島藩窯様式磁器  
色絵菱更紗文皿、色絵芥子文皿、染付青磁扇文皿、青磁耳付花器、染付藩窯絵図大皿
- ・陶磁器の製作工程（現代）  
色鍋島皿（今泉今右衛門窯：6工程）  
鍋島青磁壺（小笠原隆窯：5工程）

### (2) 肥前の染織

- ・鍋島更紗  
鍋島更紗秘伝書、鍋島更紗見本帖、鍋島更紗端切集
- ・佐賀錦（鹿島錦）  
佐賀錦織機、佐賀錦懐紙入(2)、煙管入と煙草入、佐賀錦習作(6)
- ・鍋島小紋（胡麻柄紋）の袴、型紙用和紙と鍋島小紋型紙（小宮定吉）
- ・鍋島段通  
唐草芍薬文、牡丹唐草文、唐花に蝶文

## VII 郷土の民俗

＜第一期＞＜第二期＞（大展示室）

### (1) 佐賀の民俗行事写真パネル

かせどり、水かけまつり、泥餅つき、田の神さん、ひゃーらんさん、盆綱引、盆の先祖部屋、秋のまつり、子の日の大黒様、丑の日、道具神、懸けブリ

### (2) 住まいの道具

- ・収納家具 車箆筥、箆筥、刀箆筥、お姫さん箆筥、長持(2)、車長持
- ・あかり（住まいと仕事の灯） 燈台、遠州行燈、長柄手燭、有明行燈、ローソク立て、置ランプ（座敷用）、豆ランプ（卓上用）、赤ランプ、吊ランプ、角ランプ、誘蛾燈、ガンドウ

### (3) 佐賀県農業のあゆみ

- ・耕作用具 モッタテスキ、改良スキ、クワ類、回転馬鍬、飛行機馬鍬、ゴロ、種まき機、上場地方のモグラスキ
- ・管理用具 踏み車、手ガンヅメ、麦の土入れ、クサトリ、ガメガンヅメ、タウチグルマオシガンヅメ、ニチョウガンヅメ
- ・収穫・調整用具 千歯（稲用と麦用）、鬼歯、ブリ棒、麦打ち台、箕、唐箕、木臼、扇風機、足踏回転脱穀機
- ・ゴミクイ（泥土揚げ）用具、ゴミカキ、ゴミクイオケ

(4) 佐賀県の水産業

(有明海の漁業)

- ・干潟漁業とその用具  
押桶（ハンギー）、押板、円座（ハマ）、板  
鋏、ワラスボカキ、ウナギカキ、アゲマキツ  
リ、ウミタケネジ、サシオイ、ムツ釣り竿と  
ムツ釣り針、タカッポ、ウナギニギリ、ウナ  
ギバサミ、ウナギヌキ、ガネテボ、ウザ2種

- ・貝類の養殖・採捕用具  
アカガイ種トリ、ガンヅメ、キイヌキ、アヤ  
カキトリ、ジョレン、タイラギカキ、ウミタ  
ケネジ、ジャンジャンマイ、キヤーバラ、ミ  
ジョウケ、カイアライカゴ

- ・のり養殖

- ・有明海漁業実況（模写）

- ・船で使う生活用具  
水甕、湯樽、ジロ、羽釜、米入れ箱、米洗い  
テボ、オヒツ、御膳、枕箱

(玄海の漁業)

- ・捕鯨業の歴史と捕鯨用具  
ジャンス（古式と新式）、大切庖丁、ハライ  
40%捕鯨砲（ミンク鯨用）、モリ（尖頭式と  
平頭式）、砲身掃除棒、砥石、イルカモリ

- ・名護屋の海士  
イソカギ、モッコフンドシ、ハチコ、オグブ  
クロ

- ・釣 漁  
タイ釣り、イカ釣り、一本釣、ブリ曳縄

(5) 相知町横枕の大甕づくり

- クルマ（ロクロ）、腰掛け、道具箱、道具入  
れ、道具甕、底打ち、底切り、シュレー（外  
面叩き板）、トキヤア（内面当て具）、ソト  
フィテ（外面調整具）、ナカフィテ、横槌、  
高麗鋏、窓鋏、土切り、キヤーキ（攪拌棒）  
シケンカン（比重計）、シノイ（ふるい）、  
バケツ、マス、チョップパス、ナカヌイ、ジョー  
ギ（黒詰めの水準器）、クミダシ、各種の甕

(6) 韓国の製陶用具

- パンメンイ、スウレ、トーゲー、ウェクンゲ  
ネークンゲ、ミッカセ、モッカセ、トランテ

(7) 製薬関係資料

- 薬研、乳鉢、乳棒、絹篩、さ切（片手用と両  
手用）、口折り板形、薬袋、百味箆筒、諸丸  
散調合記、矢立、看板

常設展 特別テーマ展

(博物館 3号展示室)

- I 新収蔵品展(1) 会期 4月21日～5月27日
- II 新収蔵品展(2) 会期 6月9日～7月29日
- III 屏風絵名品展 会期 8月2日～9月16日

I 新収蔵品展(1) 4月21日～5月27日

- ① ベルナル・ビュフェ  
マルドロールの歌（17点）、オリジナル（3  
点）、その他（7点） 合計 27点

- ② 山口亮一  
わら家、婦人像、山ゆり、蛙、はちの花、女  
（婦人像）、夫婦老樟、自画像、炬ばた、カ  
ラー、畑の菊、晩秋、草（自画像）、雀と小  
菊 合計 14点

II 新収蔵品展(2) 6月9日～7月29日

- ① 考古資料  
三津永田遺跡出土昭明鏡・四蛇鏡 各1面  
＜寄託＞、目達原桜馬場遺跡出土中広形銅矛  
＜寄託＞、安永田遺跡出土銅鐸・銅矛鑄型10  
点＜寄託＞、安永田遺跡出土中広形銅矛鑄型  
レプリカ

- ② 仏教美術  
千葉県成田市出土宝亀五年銘椅寺之鍾レプリ  
カ、銅造菩薩形坐像＜寄託＞

- ③ 武 具  
黒漆紺糸威五枚胴具足（銘 雪下政家作）  
＜寄託＞、刀（無銘、備前系）＜寄贈＞、脇  
差（初代盛光、銘 備州長船盛光、応永廿年  
八月日）＜寄贈＞

- ④ 工 芸  
漆工芸一籠に草花蒔絵文庫、俱利伽羅龍不動  
蒔絵箱、王子瀧乃川図蒔絵硯箱、蓬萊蒔絵香  
箱、菊紋紅葉流水蒔絵箱、漆絵提弁当＜以上  
寄託＞

- ガラスー佐賀ガラス金魚鉢2点＜購入＞

- ⑤ 近世の絵画・書  
古賀精里二行書＜寄贈＞、古川松根扁額書  
「壽慶」＜寄贈＞、草川佩川・竹岡・梅岡  
＜購入＞、成富椿屋・仁比山不動院之図＜購  
入＞、土佐光起・源氏物語若菜園＜寄託＞、  
宮川長春・桜下遊楽園＜寄託＞

- ⑥ 近・現代の絵画  
立石春美 大文字＜寄贈＞、母子＜購入＞

井手誠一 M氏像<寄贈>，風景日本海<購入>

古沢岩美 裸婦・青，裸婦，絵麻変，岩美讃<以上寄贈> 地球はぜんそく<購入>

岡田三郎助 冠をつけた女の像，庭<購入>

黒田清輝 画室内<購入>

藤島武二 老人像，裸婦，上海蘇州河激戦の跡<以上購入>，朝日<寄託>

北島浅一 戦友<購入>

高木背水 小湊誕生寺<寄贈>

中沢弘光 奈良風景<購入>

伊東静尾 草笛，作品A（浮立）<以上寄贈>

吉田西縉 船型<寄贈>，交差した船型<購入>

徳永考衝 岬，空異色，海潮音，陸濤<以上寄贈>

野口謙次郎 春溪図<購入>

### Ⅲ 屏風絵名品展 8月2日～9月16日

長澤蔵雪	獅子図屏風	6曲1隻
伝海北友松	人物図屏風	6曲1双
伝狩野探幽	琴棋図屏風	6曲1隻
筆者不詳	賀茂競馬図屏風	6曲1隻
狩野高信	四季孔雀図屏風	6曲1双
住吉弘延	源氏図屏風	8曲1双のうち 左隻
大久保雪堂	朝鮮軍陣図屏風	6曲1双
草場佩川	鳥菜貼合屏風	6曲1隻
〃	竹図屏風	6曲1隻
伝 仇 英	漢宮春曉図屏風	6曲1双
住吉弘貫	新嘗祭之図	扁 額
馬渡高雲	達磨図	扁 額
筆者不詳	達磨図	扁 額
伝司馬江漢	風景景	扁 額

## 2 企画展

### 肥前の中世美術展

主 催 佐賀県，佐賀県教育委員会，佐賀県立博物館

会 期 昭和60年2月2日(土)～  
3月10日(日)

会 場 佐賀県立博物館 1号・2号・3号  
展示室

観 覧 料 大 人 500円（400円）  
大・高生 250円（150円）  
中小生 150円（100円）  
（ ）は団体料金 団体20名以上

### 展示概況

肥前の中世美術の特質を探るために，地元教育委員会等の協力を得て，県内を中心として，既知の美術品だけでなく，今回の調査の結果新たに存在が確認されたもののなかから，美術史上特に重要な中世の美術品を一堂に展覧した。

第一部「肥前の中世」では，肥前の中世における代表的事件である元寇や，従来顧られることの少なかった一般の人々の生活を概観。

第二部「中世の美」では，肥前に縁りの深い中世の美術品を，第三部「請来された美術」では，中国大陸，朝鮮半島から請来された美術品を展覧した。

肥前の中世美術を主題とする本展は，中世の歴史と文化を考えてゆくうえでも今後その基礎となるものであり，たいへん有意義であった。



## 出品一覧

肥前の中世

肥前と元寇

番号	指定	資 料 名	時 代	所 蔵 者
1		埴	元時代	長崎県鷹島町歴史民俗資料館
2		石製片口鉢	元時代	〃
3		褐釉四耳壺	元時代	〃
4		青磁碗	元時代	〃
		碇石	元時代	〃
5		少貳経資石築地役催促状	鎌倉時代	

人びとのくらし

6		かんざし	平安時代末～鎌倉時代	佐賀県教育委員会
7		櫛	平安時代末～鎌倉時代	〃
8		漆器椀	平安時代末～鎌倉時代	〃
9		砧	平安時代末～鎌倉時代	〃
10		下駄	平安時代末～鎌倉時代	〃
11		染付及び青磁片	明時代	〃
12		曲物	鎌倉時代	三根町教育委員会
13		小皿	鎌倉時代	佐賀県教育委員会
14		碗	鎌倉時代	〃
15		鍋	平安時代末～鎌倉時代	〃
16		三足付鍋	平安時代末～鎌倉時代	〃
17		三足付盤	平安時代末～鎌倉時代	〃
18		盤	鎌倉時代	〃
19		鉢	鎌倉時代	〃
		鉢	鎌倉時代	〃
20		滑石製分銅	平安時代末～鎌倉時代	〃
21		火鉢	室町時代	小城町教育委員会
22		鍋	室町時代	〃
23		羽釜	室町時代	三根町教育委員会
24		土製地藏菩薩立像	室町時代	相知町教育委員会
25		青磁蓮弁文碗・白磁小皿	宋時代	小城高等学校
26		青磁櫛描文碗	宋時代	唐津市 常楽寺
27		青磁四耳壺	宋時代	東脊振村教育委員会
28		褐釉壺	宋時代	〃
29		四耳壺	宋時代	〃
30		白磁碗・青磁碗	宋時代	〃
31		把手付水注	宋時代	〃
32		三筋壺	鎌倉時代	〃
33		置灯籠	鎌倉時代	〃
34		菊花双雀鏡	平安時代末～鎌倉時代	〃
35		銅錢	室町時代	

番号	指定	資 料 名	時 代	所 蔵 者
36		飴釉流し叩き壺 飯洞甕窯	室町時代末	唐津城保管
37		飴釉叩き壺 飯洞甕窯	室町時代末	佐賀県立博物館
38		無地唐津猪口 飯洞甕上窯出土	桃山時代	
39		青唐津猪口 飯洞甕下窯出土	桃山時代	
40	㊦	天正20年銘叩き黒唐津三耳付茶壺	桃山時代 天正20年(1592)	長崎県勝本町 聖母神社
41		斑唐津皮鯨茶碗 帆柱窯出土	桃山時代	
42		斑唐津猪口 岸岳皿屋窯出土	桃山時代	
43		青唐津猪口 道納屋谷窯出土	桃山時代	
44		無地唐津皿 小十郎窯出土	桃山時代	
45		飴釉小徳利 山瀬窯出土	桃山時代	
46		斑唐津皿 山瀬窯出土	桃山時代	

中世の美  
写 経

47	◎	紙本墨書梵網經 一卷	南北朝時代 天授4年(1378)	三田川町 東妙寺
48	◎	版本般若心經 53枚	鎌倉時代 正安2年(1300)	大和町 高城寺
49	◎	版本宝篋印陀羅尼 一卷	鎌倉時代 正安2年(1300)	大和町 高城寺
50		紙本墨書大般若經 第百卷	南北朝時代 正平20年(1365)	鎮西町 竜泉寺
51		紙本墨書大般若經 六百卷	南北朝時代 正平25年(1370)～ 建徳3年(1372)	大和町 玉林寺
52		紙本墨書大般若經 六百卷	南北朝時代 至徳元年(1384)～ 嘉慶2年(1388)	長崎県鷹島町 住吉神社
53		紙本墨書大般若經 六百卷	南北朝時代 天授3年(1377)～ 文明12年(1480)	佐賀市 大興寺
54		紙本墨書大般若經 六百卷	室町時代 応永3年(1396)～ 応永20年(1413)	太良町 観世音寺
55		紙本墨書大般若經 六百卷	室町時代 応永24年(1417)	伊万里市 本覚寺
56		版本大般若經 六百卷	室町時代 永享4年(1432)	小城町 三岳寺
57		版本大般若經 六百卷	室町時代 文安6年(1449)	三根町 光浄寺
58		紙本墨書末代念仏授手印 一卷	鎌倉時代 安貞2年(1228)	佐賀市 大覚寺

甲冑・刀剣

59		紺糸威桶側二枚胴具足	桃山時代	佐賀県立博物館
60		黒漆塗雪下胴具足	桃山時代	〃

番号	指定	資 料 名	時 代	所 蔵 者
61		黒漆塗紺糸威五枚胴具足	室町時代後期	佐賀県立博物館
62		黒漆塗萌黄糸威五枚胴具足	桃山時代	“
63	㊦	太刀 銘 朱銘 国行	鎌倉時代中期	
64		衛府太刀 銘 無銘	鎌倉時代中期	
65	㊦	太刀 銘 朱銘 来国光	鎌倉時代後期	
66	㊦	太刀 銘 無銘 (伝行光)	鎌倉時代後期	佐賀県立博物館
67	◎	太刀 銘 備中国住人吉次	南北朝時代	呼子町 田島神社
68		太刀 銘 無銘 (伝兼氏)	南北朝時代	佐賀県立博物館
69		短刀 銘 (綉) 備州長船重真 (綉) 延文三年二月日	南北朝時代	
70	㊦	長巻 銘 正平十〇肥州末貞	南北朝時代	
71	㊦	薙刀 銘 (綉) 備州長船政光 (綉) 貞治元年十二月日	南北朝時代	
72	◎	太刀 銘 康 (伝康光)	室町時代前期	佐賀市 与賀神社
73		太刀 銘 備前国住則広	室町時代前期	
74		脇差 銘 (綉) 備州長船盛光 (綉) 応永廿年八月日	室町時代前期	佐賀県立博物館
75		太刀 銘 (綉) 元成 (綉) 真屋	室町時代後期	
76		太刀 銘 南都金房準人兼 正真作	室町時代後期	
77		槍 銘 南都住藤原朝臣金房兵衛尉政次	室町時代後期	佐賀市 勝宿神社
78		槍 銘 (綉) 肥州神崎住小河兵部丞源盛吉作 (綉) 八月日	室町時代後期	
79		槍 銘 相州住周廣	室町時代後期	

絵 画  
仏 画

80	㊦	絹本着色 両界曼荼羅図 一对	鎌倉時代	多久市 妙覚寺
81		板絵 金剛界種字曼荼羅 一面	南北朝時代	三田川町 石塔院
82	㊦	絹本着色 八字文殊菩薩騎獅像 一幅	南北朝時代	鹿島市 誕生院
83		絹本着色 愛染明王騎獅像 一幅	室町時代	大和町 実相院
84	○	絹本着色 十六羅漢像 十六幅	鎌倉時代	神奈川県立博物館
85		絹本着色 十六羅漢像 十六幅	室町時代	武雄市 広福護国禪寺
86		絹本着色 十王図 十幅	室町時代	大和町 万寿寺
87		絹本着色 聖一国師像 一幅	室町時代	武雄市 広福護国禪寺
88	㊦	紙本着色 福満寺古図 一幅	室町時代	佐賀市 福満寺
89		版本 大仏頂万行首楞嚴神咒図 一幅	室町時代 永禄元年(1558)	武雄市 広福護国禪寺

水 墨 画

90		紙本墨画 聖一国師像 等禅筆 一幅	室町時代後期	福岡県福岡市 承天寺
91		紙本着色 維摩居士図 即非如 等禅筆 一贊 一幅	室町時代後期	福岡県福岡市 承天寺
92		紙本墨画淡彩 文殊図 等禅筆 一幅	室町時代後期	東京芸術大学芸術資料館
93		紙本着色 文殊・花鳥図 等禅筆 三幅	室町時代後期	東京国立博物館

番号	指定	資 料 名	時 代 代	所 蔵 者
94		紙本墨画 蓮に鷺図 等禅筆 二幅	室町時代後期	大和町 万寿寺
95		紙本着色 梅に鸚鵡図 伝等禅筆 一幅	室町時代後期	

彫 刻  
神 道 彫 刻

96		木造男神像 一軀	南北朝時代	相知町 三光神社
97		木造神像 六十七軀	室町時代 永正8年(1511)	佐賀市 堀江神社
98		木造男女神像 一对	室町時代 永禄4年(1561)	鹿島市 中尾天満宮
99		木造山王神像 一軀	室町時代 元亀3年(1572)	大和町 実相院
100		木造男神像 一軀	室町時代	川副町 志賀神社
101		木造随神像 一对	室町時代	塩田町 味嶋神社
102		木造随神像 一对	室町時代	佐賀市 本覚院
103		木造狛犬 一对	南北朝時代	嬉野町 両岩神社
104		木造狛犬 一对	室町時代 天文14年(1545)	塩田町 味嶋神社
105		木造狛犬 一对	室町時代	鹿島市 中尾天満宮
106		石造狛犬 一对	室町時代	相知町 熊野神社
107		木造面 二面	鎌倉時代 正安2年(1300)	呼子町 田島神社
108		木造面 二面	桃山時代 天正10年(1582)	

仏 教 彫 刻

109	◎	木造釈迦如来坐像 一軀	鎌倉時代	三田川町 東妙寺
110		木造釈迦如来坐像 一軀	鎌倉時代	武雄市 広福護国禅寺
111		木造阿弥陀如来坐像 一軀	平安時代	鳥栖市 西清寺
112		木造阿弥陀如来坐像 一軀	室町時代 文明18年(1486)	鹿島市 興善院
113		木造阿弥陀如来坐像 一軀	南北朝時代	白石町 妙楽寺
114		木造阿弥陀如来立像 一軀	鎌倉時代	小城町 晃明寺
115		木造阿弥陀如来立像 一軀	室町時代 永禄13年(1570)	山内町 東光寺
116		木造阿弥陀如来立像 一軀	桃山時代 天正7年(1579)	神埼町 地藏院
117		木造薬師如来坐像 一軀	室町時代 天文17年(1548)	三日月町 岡本薬師堂
118		木造薬師如来坐像 一軀	室町時代	伊万里市 東照支部
119		木造聖観音坐像 一軀	南北朝時代 観応3年(1352)	相知町 妙音寺
120		木造聖観音立像 一軀	室町時代	有明町 座主坊
121		木造十一面観音立像 一軀	南北朝時代	三田川町 石塔院
122	㊦	木造如意輪観音坐像 一軀	鎌倉時代	相知町 梶山観音堂
123	◎	木造普賢延命菩薩騎象像 一軀	鎌倉時代 正中3年(1326)	佐賀市 竜田寺

番号	指定	資 料 名	時 代	所 蔵 者
124	㊦	木造地藏菩薩半跏像 一軀	鎌倉時代	小城町 田明寺
125		木造地藏菩薩半跏像及び両脇侍像 三軀	室町時代	太良町 大川内地蔵院
126		木造地藏菩薩立像 一軀	室町時代 永正17年(1520)	塩田町 常在寺
127		木造地藏菩薩立像 一軀	桃山時代 天正元年(1573)	川副町 和崎地藏堂
128		木造菩薩形立像 一軀	室町時代	鹿島市 信福寺
129	◎	木造持国天立像 一軀	鎌倉時代	武雄市 広福護国禪寺
130	◎	木造増長天立像 一軀	鎌倉時代	武雄市 広福護国禪寺
131	◎	木造円鑑禪師坐像 一軀	鎌倉時代 正安2年(1300)	大和町 高城寺
132		木造如来形坐像 三面	桃山時代 天正20年(1592)	山内町 定林寺
133		自然石彫像板碑 一基	南北朝時代	白石町 法泉寺

金 工

134	◎	建久七年銘銅鐘 一口	鎌倉時代(1196)	大和町 健福寺
135	㊦	嘉元二年銘銅鐘 一口	鎌倉時代(1304)	島根県松江市 宝照院
136	㊦	観応三年銘銅鐘 一口	南北朝時代(1352)	福岡県福岡市 櫛田神社
137	㊦	永和二年銘銅鐘 一口	南北朝時代(1376)	相知町 医王寺
138	㊦	文禄三年後銘銅鐘 一口	南北朝時代	福岡県添田町 英彦山神宮
139	㊦	銅製罽口 一口	室町時代	長崎県勝本町 金蔵寺
140		銅製罽口 一口	室町時代	福岡県星野村 小野神社
141	㊦	銅製罽口 一口	室町時代	有明町 東楽寺
142	㊦	銅製雲版 一面	室町時代	長崎県芦辺町 定光寺
143	㊦	銅製雲版 一面	室町時代	福岡県福岡市 聖福寺
144	㊦	戒体箱 一合	室町時代	大和町 実相院
145	㊦	居箱・香爐箱 二口	室町時代	大和町 実相院
146	㊦	如意 一柄	室町時代	大和町 実相院
147	㊦	青銅鉢 十一口	室町時代	厳木町 天山神社
148	㊦	銅製花瓶 一对	桃山時代 慶長3年(1598)	福岡県太宰府市 太宰府天満宮
149		五鈷杵 一口	鎌倉時代	山内町 定林寺
150		五鈷杵 一口	鎌倉時代	山内町 定林寺
151	㊦	水上懸仏 一面	鎌倉時代 文永8年(1271)	大和町 水上区
152		懸仏 一軀	室町時代	唐津市 浄泰寺
153		懸仏 一軀	室町時代	山内町 悉地院
154		鏡像 一面	室町時代	唐津市 常楽寺

請来された美術

絵 画

番号	指定	資 料 名	時 代	所 蔵 者
155	◎	絹本着色 楊柳観音像 一幅	高麗時代 至大3年(1310)	唐津市 鏡神社
156		絹本着色 阿弥陀八大菩薩像 一幅	高麗時代	武雄市 広福護国禅寺
157		絹本着色 釈迦三尊及び比丘像 一幅	李朝時代	〃
158		絹本墨画淡彩 善財童子歴参図 一幅	李朝時代	〃
159		絹本墨画淡彩 楊柳観音像 一幅	李朝時代	〃
160		絹本着色 見心来復禅師円像 一幅	元時代 至正25年(1365)	鳥栖市 万歳寺

彫 刻

161		銅造如来形立像 一軀	新羅時代	唐津市 浄泰寺
162		銅造誕生仏 一軀	高麗時代	鳥栖市 万歳寺
163	㊦	銅造如来形坐像 一軀	高麗時代	唐津市 山田薬師堂
164	㊦	銅造菩薩形坐像 一軀	高麗時代	長崎県郷ノ浦町 金谷寺
165		銅造菩薩形坐像 一軀	高麗時代	鹿島市 普明寺
166		銅造普賢菩薩騎象像 一軀	明時代 嘉靖6年(1527)	鳥栖市 安生寺
167		銅造菩薩形坐像 一軀	明時代	鳥栖市 安生寺
168		銅造菩薩形半跏像 一軀	明時代	鳥栖市 安生寺
169		銅造菩薩形坐像 一軀	明時代	西有田町 原明区
170		銅造比丘形立像 一軀	明時代	唐津市 浄泰寺
171		銅造倚像 一軀	明時代	

写 経

172		紺紙金字妙法蓮華経 七卷	高麗時代 至元6年(1340)	
173		白紙金字金剛般若波羅密経 一卷	高麗時代 至正27年(1367)	佐賀市 慶閻寺

◎は重要文化財、○は重要美術品、㊦は各県指定重要文化財を示している。

その他の企画展 (博物館)

展示会名称	主催	会期
理科作品展	佐賀県理科教育振興会, 佐賀県立博物館	9/19 ~ 9/26
よみがえれ佐賀展	佐賀青年会議所, 佐賀県機械金属工業会, 佐賀市, 佐賀新聞社	9/29 ~ 10/10
中里無庵・太郎右衛門父子展	読売新聞社, 佐賀県立博物館	10/20 ~ 11/4
佐賀県高等学校芸術祭美術書道展	佐賀県教育委員会, 佐賀県高等学校美術連盟, 佐賀県高等学校書道教育研究会, 佐賀県立博物館, 佐賀県立美術館	11/11 ~ 11/18
第34回佐賀県美術展	佐賀県, 佐賀県教育委員会, 佐賀県立博物館, 佐賀県立美術館	11/28 ~ 12/9

昭和59年度 博物館観覧状況調べ

常設展

	個人			団体			観覧料	
	大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小	大人	大・高
佐賀県の歴史と文化展	3,911	347	1,081	279	274	10	483	161
〃	1,481	125	257	27			288	382
小計 (1)	5,392	472	1,338	306	274	10	771	543

企画展

	個人			団体			観覧料	
	大人	大・高	中・小	大人	大・高	中・小	大人	大・高
理科作品展	1,179	128	1,325	99		601		
よみがえれ佐賀展	3,354		1,636	13	45	1,311		
中里無庵太郎右衛門父子展	1,299	110		115	787			
肥前の中世美術展	2,659	142	251	291	593	120		
小計 (2)	8,491	380	3,212	518	1,425	2,032		
合計 (1) + (2)	13,883	852	4,550	824	1,699	2,042	711	543

会 場	展 示 概 要
博物館 3 号	小・中・高等学校の生徒による理科作品 272 点を展示。
博物館 3 号	佐賀市内の各小学校所蔵の教育資料と本県出身の実業家 森永太郎・江崎利一・市村清の 3 氏の業績を紹介展示。
博物館 3 号	中里無庵、十三代中里太郎右衛門父子の回顧展。
博物館 2,3 号	本県高等学校美術教育の振興と高校生の芸術文化活動の交流及びその向上をはかるもので、絵画・書等 322 点を展示。
博物館 2,3 号	日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真、デザインの各部門で県内から一般公募を行い、入選作に審査員及び物故者の作品を加え 467 点を展示。

・昭 60. 3. 31 現在

免 除	招待者	優待者	合 計	開館日数	一日平均	期 間	備 考
中・小							
4,530		594	11,670	169	69	4/1 ~ 10/14	
167		157	2,884	83	35	12/16 ~ 3/31	
4,697		751	14,554	252	58		

免 除	招待者	優待者	合 計	開催日数	一日平均	期 間	備 考
中・小							
			3,332	7	476	9/19 ~ 9/26	
			6,359	10	636	9/29 ~ 10/10	
	1,709		4,020	14	287	10/20 ~ 11/4	
	767	56	4,879	32	152	2/2 ~ 3/10	
	2,476	56	18,590	63	295		
4,697	2,476	807	33,144	315	105		

#### 4. 普及活動

##### (1) 資料の刊行

◇博物館報 発行回数4回、合計32頁、各号1,000部印刷 B5版、アート紙使用、配布先は県内教育機関、社会教育団体及び主な博物館等で、館の資料紹介ならびに利用促進資料として活用している。内容は、次のとおりである。

㊦65号 昭和59年8月1日発行 8頁

- 風景習作 岡田三郎助作
- 資料紹介 - 画室内 -
- 明治前期の産業発達と佐賀人
- 佐賀県考古学史 - 2 -
- 行事のお知らせ・人事異動

㊦66号 昭和59年10月1日発行 8頁

- 秋郊鳴鶴図 土佐光起・光成筆
- 「日本の美」展開催要項
- 出品目録
- 佐賀県考古学史 - 3 - 木下之治(その2)
- 展覧会案内 - 古唐津・中里無庵・十三代太郎右衛門展

㊦67号 昭和59年12月1日発行 8頁

- 宝亀五年銘椅寺鐘
- 肥前の梵鐘考(1)
- 展覧会ご案内

㊦68号 昭和60年2月1日発行 8頁

- 木造釈迦如来坐像
- 肥前の中世美術展開催要項
- 肥前の中世美術展案内

##### ◇年報

昭和58年度佐賀県立博物館・佐賀県立美術館年報㊦14を刊行し、昭和58年度の管理概要、事業概況、資料概況、茶室の管理と運営の概況等を掲載し、各方面に配布、印刷部数800部、形態B5版、アート紙、58頁。

##### ◇「肥前の中世美術」展図録

博物館特別企画展「肥前の中世美術」展に伴い刊行されたもので、カラー8頁に作品8点、白黒120頁に作品173点、論考、目録、等総計246頁で構成。

##### (2) 研究講座

当館学芸員が実施した講座開催状況は次の通りである。

年月日	演 題	氏 名	聴 講 者 数
59. 5. 8	古代の器	森醇一朗	73
々	現代の工芸	宇治 章	73
59. 5. 15	弥生時代の佐賀	藤口健二	62
59. 6. 19	経典埋納とその意義について	志佐 惲彦	52
59. 7. 10	仏像の種類	大隈博文	67
59. 10. 30	室町時代の水墨画	福井尚寿	110
59. 10. 30	唐津焼について	宇治 章	

#### 5. 資料調査

●根津美術館蔵等禅資料調査 東京都港区南青山  
等禅は松浦の人で、雪舟に師事したとされる画人である。東京国立博物館蔵資料など6点の等禅資料を、当館企画「肥前の中世美術展」で紹介した。

根津美術館にある等禅資料は、紙本墨画の白衣観音図で、「等禅」の白文朱方印を捺す。京都真珠庵にある大徳寺第二世徹翁義享(1295 - 1369)が賛をし、正平七年(1352)の年記をもつ「白衣観音図」の模本と考えられる。

●犬走家調査 杵島郡山内町三間坂

犬走家所蔵の狩野休伯昌信(1662年歿)筆「陶淵明愛菊図」、柴田是真(1807 - 1891)筆「草花虫図」、廣渡三舟(昭和初年歿)筆「七福神図」などの掛幅を含む、近世・近代の書画を調査した。

●鬼木家調査 東松浦郡浜玉町平原乙 2318

鬼木家所蔵の武谷雪嶺資料、色紙26点を含む46点を調査した。

武谷雪嶺(1896 - 1982)は、浜玉町大江に生まれ、本名を宇一郎という。唐津藩絵師長谷川雪嶺の弟子武谷雪溪とは姻戚関係にあり、彼から画を学ぶ。23才頃上京、山内多門に師事し、山内多門歿後は川合玉堂の門に入る。昭和3年の第9回帝展に入選するなど、東京で活躍する。

戦後、郷里に後援会ができるが、鬼木家も後援者であった。

●座主坊調査 有明町辺田 2889

大同2年(807)、前年唐より帰朝した空海は、平城天皇の勅許を受けて、稲佐大明神を祀る稲佐山中腹に真言宗の十六坊を開創したと伝えられている。この神仏合祀地域を稲佐山泰平寺と総称し、座主坊はそうした神宮寺の一坊である。

両手首先のみを別材とする楠材による木造聖観音立像は、県内にしばしば見られる楠材・丸彫り・素木造りの特徴的な在地系仏師による室町時代の造仏例として貴重である。

●清涼山淨泰寺調査 唐津市弓鷹町 1494

当寺院は、天正年中(1573~92)に、波多三河守鎮が上洛した折、源信が慈母安養尼の孝養追善のために彫刻したと伝える阿弥陀如来の霊像を比叡山で拝し、辺地の人心摂化や子孫繁栄の守護仏として譲り受け、天正15年(1587)に現在の唐津市神田山口に一字を造営したことに始まるとされる。その後豊臣秀吉の朝鮮出兵に際して、寺沢広正が現在の鎮西町名懸屋へ転座させ、現在地へは初代唐津藩主寺沢広高が移座させた。

当寺には、室町時代の作と思われる木造阿弥陀如来立像や懸仏、明時代作の銅造比丘形立像などが伝えられている。

●大円山本覚寺調査

伊万里市大川町大川野宿 2207

当寺院は、天文・弘治年間(1532~1555~1558)頃に開山されたと伝える曹洞宗寺院である。

当寺に伝えられる紙本墨書大般若経は、応永24年(1416)に北茂安町の千栗八幡宮に奉納され、大永5年(1525)に鹿島庄厳院に再入、その後本覚寺へ伝来した事情は不明である。

また、内箱は嘉吉3年(1443)に作られたもので、経櫃は寛永14年(1637)銘のものが一口現存しているのみである。

●松雲山興善院調査 鹿島市古枝中尾乙 2865

当寺院は、文明年間(1469~87)頃に有馬氏が鹿島市森に建立し、その後中尾へ移転した松尾山西福寺をその起源とするという。

その後天正4年(1576)に、森岳城主犬塚盛家が中興し、その法名に因んで興善院を称したと伝える曹洞宗寺院である。

当寺阿弥陀堂の木造阿弥陀如来坐像は、楠材の一木造りで、内割りも施されていない在地系仏師による造像になるもので、像底の墨書銘から文明18年(1486)に造像されたものであることが判かる。

●教王山常在寺 塩田町下野辺田甲 1447

当寺院は、元暦元年(1184)に、後の後鳥羽上皇の勅願によって創建されたと伝える真言宗の古刹である。当寺には、平安時代末期より江戸時代にいたるまでの仏像が数多く伝えられている。今回そうしたなかから8体を調査した。

木造地藏菩薩立像は頭部の小ささや、衣紋の鎚ぎ立つ表現などを特徴とし、地付部には墨書銘があり、稲佐山定額坊紹重が大願主となって、仏師博多崇栢に、永正17年(1520)に作らせたものであることが判かる。

●医王山三岳寺調査 小城町池上 3670

当寺院は、薬師霊場であったといわれる天台宗三津寺を、慶長年中(1596~1614)に、小城町晴気出身の元信を中興開山として、佐賀鍋島家によって再興されたという。

当寺に伝えられる版本大般若経は、元来、永享4年(1431)に、現在は隆寺となっている筑後州三潞郡江嶋村(福岡県三潞郡城島町)妙巖寺に施入されたもので、三岳寺へは鍋島家によって再奉納されたと伝えられている。経帙や経櫃も中世に遡るものと思われる。

●妙台山見明寺調査 小城町西晴気 1966

当寺院は木造薬師如来坐像を本尊とする天台宗の古刹である。その開基は、源頼朝の挙兵を援け、平氏討滅に尽力、後に下総国の地頭に任ぜられ、また小城郡晴気荘を安堵された下総介千葉常胤とされ、その後千葉家代々の帰依を受けた。

当寺の本尊は、牛津町常福寺本尊と同流と考えられる平安時代後期の丸彫り像である。また、木造阿弥陀如来立像は、頭部を後補されていることが惜しまれるが、衣紋の処理などは安阿弥様を正しく伝える鎌倉時代の作例である。

●地蔵堂調査 川副町和崎

和崎地区は、江戸時代以前は未だ干潟であったと考えられており、この小堂に祀られている木造地蔵菩薩立像の来歴にも漁夫が漂着していた本像を引き揚げたものとされている。

この像は楠による一木造りで、のっぺりした抑揚のない面相を特徴としている。

大正12年の修補の際に、その胸部から卷子装の書付けが発見され、その文章を修復碑に刻んでいる。この碑文によると、天正元年(1573)に藤原信貞の発願により猪能治部必が作ったものと考えられる。

●満性院調査 佐賀市鍋島町蛸久 1448

当寺院は、当初蛸久天満宮神宮寺として社僧を多く真言宗の寺院で、大和町実相院の末寺であった。現在は廃寺となり、竜樹菩薩と伝えられる、3mを超える木造比丘形坐像を祀る小堂を残すのみとなっている。

この像は、上古、潮流にのって瀬に流れついたものという。

頭体根幹部を一材から彫出した本像は、抑揚を付けない面部に大きく目鼻だちを表現していること、細部を省略し大きく衣紋を捉えていることなどから、室町時代16世紀後半の作例であると思われる。

●朝日本山覚院調査 佐賀市高木町 16 - 31

当寺院は、その創建を詳かにしないが、元来は現在の神埼町本堀にあって定正院と称し、弘仁8年(817)の悪病流行には、病害退散の祈禱を行い、田地を賜ったという。現在地へは、寛永14年(1639)、鍋島藩祖勝茂より寺地を安堵されて移転し、本覚院と改称したという。

当寺院には、平安時代後期の作である木造不動明王立像、室町時代作木造随神像一対などが伝えられている。

●掘江神社調査 佐賀市神野西2丁目2

当神社は、大和時代に、熊襲討伐のために九州を訪れた日本武尊の威徳を偲んで、土地の人が小祀を建てて掘江大明神と称したのが起源であるという。

当神社には、67体の神像が祀られており、1体あて1国1社の名称が墨書されている。これらは、鎌倉時代、元寇に際し、蒙古軍の退散を祈願して後宇多天皇が奉納したとの伝承をもっている。

楠材の丸彫りによって表現されたこれらの像は、県内の3軀を除き、こけし状に彫り放されたもので、庶民の神道信仰の様態が窺われる。

●実相院調査 大和町川上 947

実相院は、真言宗の古刹で、佐賀県重要文化財に指定されている絹本着色普賢菩薩騎象像や法具箱、説相箱など貴重な文化財を伝えている。今回、こうした数々の什宝のなかから、木造山王神像や女神像、絹本着色愛染明王騎獅像などを調査した。

木造山王神像には、旦那や作者が墨書され、また元龜3年(1572)の紀年銘があり、その後の神像調査の基準とすることができた。

また絹本着色愛染明王騎獅像は、傷みは激しいものの県内に伝えられる数少ない中世仏画であることが確認された。

●地蔵院調査 神埼町の 1688

当寺院は、仁比山神社の神宮寺で、往時は36坊を有した仁比山護国寺の唯一の現存寺院である。

護国寺は、天平元年(729)、聖武天皇の勅願によって行基が草創したことに源を発すると伝えられている。本尊は千手観音で、仁比山神社の本地仏として祀られていた。地蔵院に残る平安時代後期の作である木造千手観音立像がこれに相当すると思われる。

当寺院には、本尊の千手観音の周りの壇に多数の仏像が祀られている。これらのなかに桃山時代の作である木造阿弥陀如来立像が2軀含まれている。その一体には天正7年(1579)の銘があり、従来余り知られることのなかった桃山時代の基準作として貴重である。

●医王山光浄寺調査 三根町西島 2153

当寺院は、鎌倉時代嘉暦2年(1327)に、三根町近辺の地頭であった板部六郎成尚が、水上山萬寿寺(大和町水上)開山神子栄尊の法孫である空山月堂自空を開山として創建した臨済宗の古刹で、中世には祈願寺として諸将の帰依も厚く隆盛した。

当寺の本尊は、長祿3年(1459)銘を有する木造薬師如来坐像で、像高が38.5cmの小像ではあるが、当時在地系仏師による造仏活動のなかで、中央系仏師の手になる仏像として注目される。

また、当寺に伝えられる版本大般若経は、文安6年(1449)に校正を終え、播磨守藤原為家が、現在

の久留米市西牟田の三嶋大明神に奉納したもので、戦乱の世に当寺へ再奉納されたものと伝えられる。帙包紙や内箱、経櫃も中世のものと考えられる。

●太田山安生寺調査 鳥栖市田代本町 1358

当寺院は、当初本尊を祀るだけの草堂であったものを、元和元年（1615）、田代祀園寺（永禄6年（1561）に創祀されたと伝えられる田代八坂神社神宮寺）第2世である宗円大徳が庵として再建、その後天保15年（1844）、松林院（廃寺）に学んだ尼僧素光が住し、尼寺として現在にいたっている天台宗寺院である。

当寺院には、三軀の中国製仏像が伝えられている。これらのうち銅造普賢菩薩騎象像の象の裏面には、嘉靖6年（1527）の陰刻銘があり、明時代の紀年銘像として貴重である。

●本城山萬歳寺調査 鳥栖市河内町 2118

当寺院は、建久9年（1198）に天台宗寺院として創建されたが、その後応永年間（1394～1427）に、鎌倉五山で活躍した以亨得謙禅師によって再興されたと伝える臨済宗寺院である。

当院には、中興開山である以亨得謙禅師が、中国から持ち帰ったと考えられる絹本着色見心来復禅師円像や中国製の袈裟、絹本着色以亨得謙禅師経行像、高麗時代の銅造誕生仏などが伝えられている。

なお、絹本着色見心来復禅師円像は、至正25年（1365）銘を有し、数少ない元時代の絵画であること、現在報告されているものなかでは最古の紀年銘を有する円相像であることが確認された。

# 資料の概要

## — 博物館 —

### 1 昭和59年度購入資料

#### (1) 考古資料

資料名	形状	数量	備考
石 庵 丁	長さ 12.4 cm	1	菜畑遺跡出土品レプリカ 京都科学標本館
石 鎌	長さ 26.6 cm	1	"
石 剣	長さ 17.7 cm	1	"
彩 文 土 器	高さ 14.4 cm	1	"

#### (2) 歴史資料

資料名	作者	数量	形状	備考
葡萄に鷹図	天龍道人	1	93.8 × 31.3 cm	文化2年(1805)
耕織図屏風	周幽斎 夏龍	六曲一双	155.1 × 366.5 cm	江戸時代後期
「屈指云々」 七絶三行書	古賀 莽	1	127.5 × 28.5 cm	江戸時代後期
「何辺云々」 七律五行書	武富 圮南	1	144.6 × 62.7 cm	江戸時代末～ 明治時代初

### 2 昭和59年度寄贈資料

#### (1) 自然・科学資料

資料名	形状	数量	寄贈者
ニホンキジ(剝製)	全長 72 cm	1	佐賀市本庄町末次 中村吉紀
佐賀県産植物腊葉標本		6,000	佐賀植物友の会

## (2) 歴 史 資 料

資 料 名	数 量	寄 贈 者
葉隠一・二・七	3	愛媛県松山市樽味4-1-39 石井克己
居業録(明胡敬齋書)	1	〃
成松遠江守信勝所用二間半槍 (銘, 相州住周廣)	1	神奈川県鎌倉市扇ヶ谷2-9-11 成松安喜
同 (無 銘)	1	〃
感状, 竜造寺隆信	1	〃
感状, 竜造寺政家	1	〃
成松遠江守信勝戦功畧記	1	〃
黒漆塗萌黄糸威五枚胴具足 (兜・立物・頬当・胴・袖・肩当・籠手・草 摺・佩楯・脇当・采配・軍扇・鎧通・具足 櫃)	一括	〃
桃 実 形 兜	1	〃
幔 幕	1	〃
袴 (鍋島小紋・翹葉紋付)	1	〃
袴 (斜交小紋・葉研子紋付)	1	〃
袴 (無地組合せ・葉研子紋付)	1	〃
素 襖 (白円紋付)	1	〃
陣 羽 織 (葉研子紋付)	1	〃
黒 印 状 (鍋島綱茂)	3	〃
黒 印 状 (鍋島吉茂)	1	〃
黒 印 状 (鍋島宗教)	2	〃
成松家系図 (和 綴)	1	〃
竜造寺隆信着到 (和 綴)	1	〃
英 名 録	1	〃
成松信久碑文	1	〃
正保四年南蠻船入津図	1	〃
特別大演習の御前講演	1	神奈川県鎌倉市扇ヶ谷2-9-11 成松安喜
達 磨 図 (版 本)	1	〃
水 草 図 (版 本)	1	〃
山 水 図 (版本・呉春筆)	1	〃
藤 鳥 図 (版本・景文筆)	1	〃
弓用鹿皮手袋	2	〃
亮茶翁像 (ブロンズ 全高 11.7 cm)	1	大阪市天王寺区上本町9-6-17 田中富子

## (3) 民俗資料

資 料 名	数 量	寄 贈 者
埼玉の民俗音楽 (LPレコード)	2	埼玉県岩槻市加倉 1068 - 2 埼玉県立民俗文化センター

## 3 昭和59年度寄託資料

## (1) 考古資料

資 料 名	形 状	数 量	備 考
銅 戈 (東尾出土)	長 さ 18.2 cm	1	佐賀県重要文化財 北茂安町教育委員会

## (2) 歴史資料

資 料 名	形 状	数 量	備 考
名護屋城軒丸瓦	径 30 cm	1	三根町 西乃宮八幡宮
西島城の記	和 綴	9	"
円鑑禅師坐像胎内納入品の内 版本般若心経	紙本墨摺	53	大和町 高 城 寺
版本宝篋印陀羅尼	紙本墨摺	1	" (重要文化財)
誕 生 仏	銅造 高 13.1 cm	1	武雄市 広福護国禅寺
猛 虎 図	絹本着色 151.2 × 107.7 cm	1	"
夏 木 図	紙本墨画 143.4 × 64.5 cm	1	"
花 鳥 図	絹本着色 115.7 × 50.7 cm	1	武雄市 広福護国禅寺
見心来復禅師円像	絹本着色 94.5 × 44.8 cm	1	鳥栖市 万 歳 寺
経 行 像	絹本着色 83.8 × 39.7	1	"
誕 生 仏	銅造 高 9.9 cm	1	"
七条袈沙 衣		3 1	" "
大般若経 (応永二四年)	紙本墨書 24.4 × 10.1 cm	一 括	伊万里市 本 覚 寺

資 料 名	形 状	数 量	備 考
大般若經中箱 (嘉吉三年)	木 製	1	"
金剛界種子曼荼羅	板繪 27.0 × 25.0 cm	1	三田川町 石 塔 院
銅造菩薩形坐像	高 65.8 cm	1	鹿島市 普 明 寺
十 王 図	絹本着色 84.0 × 35.5 cm	10	大和町 万 寿 寺
蓮池水禽図	紙本墨画 105.5 × 43.0 cm	2	"
円鑑禪師坐像	木造 高 85.0 cm	1	大和町 高 城 寺
地藏菩薩坐像	木造 高 72.0 cm	1	"
菩薩形坐像	木造 高 95.1 cm	1	"
觀世音菩薩立像	木造 高 111.8 cm	1	"
韋馱天立像	木造 高 36.9 cm	1	"
五 輪 塔	石造 高 290.0 cm	1	"
三 重 塔	石造 高 162.0 cm	1	"
觀世音菩薩思惟像	石造 高 47.0 cm	1	"
肥前板碑	石造 高 31.8 cm	1	"
半 鐘	銅造 高 51.6 cm	1	"
雲 版	銅製 高 51.8 cm	1	"
扁 額	木製 64.5 × 123.0 cm	1	"
葺山順空置文案	紙本墨書卷子装 28.1 × 42.0 cm	1	"
袈 沙	九条 135.4 × 342.5 cm	1	"
袈 沙	九条 131.7 × 362.5 cm	1	"

(3) 工 芸 資 料

資 料 名	形 状	数 量	備 考
刀 (肥前国出羽守藤原行廣)	長さ 70.4 cm	1	
脇差 (播磨大掾藤原忠国)	長さ 49.3 cm	1	
短刀 (藤原忠吉)	長さ 15.4 cm	1	
刀 (南都金房隼人兼正真作)	長さ 71.4 cm	1	
刀 (横山上野大掾藤原祐定・備州長船住人)	長さ 66.4 cm	1	
刀 (無 銘)	長さ 71.2 cm	1	
薙刀 (備州長船政光・貞治元年十二月日)	長さ 61.2 cm	1	

昭和 59 年度購入及び寄贈図書

(1) 購入図書

書名	発行所	書名	発行所
美術新報 日本の天然記念物 全6巻 古文化財の自然科学的研究	八木書店 講談社 古文化財編集委員会	国史大辞典 美術新報 総目録	吉川弘文館 八木書店

(2) 寄贈図書

書名	寄贈者	書名	寄贈所
密教美術大観 叟八幡西谷遺跡	朝日新聞社 神奈川県立埋蔵文化財センター	東笠子遺跡群発掘調査概報 昭和 57 年度	静岡県湖西市教育委員会
栗原中丸遺跡	〃	天神山古墳群発掘調査報告書 1983	〃
福岡市の文化財（彫刻） 総社市埋蔵文化財発掘調査報告 1	福岡市教育委員会 総社市教育委員会	宇津山城址・東笠子遺跡群 森崎遺跡（武雄市文化財調査報告書 第 12 集）	〃 武雄市教育委員会
研究紀要 第 8 集 九州産業大学・芸術学部研究報告 第 15 巻	佐賀県教育センター 九州産業大学 芸術学会	赤穂事件と“忠臣蔵” 〈特別展〉	兵庫県立歴史博物館
シーボルト研究 第 2 号 金澤文庫研究 第 272 号 収蔵作品目録（東京）	法政大学 神奈川県立金沢文庫 ブリジストン美術館	兵庫を歩いた近世の画家 〈特別展〉	〃
山ノ寺遺跡 野見山晩治展 肥前古代の寺院と瓦	伊万里市教育委員会 杏美画廊 廣瀬正照遺稿集刊行会	石川日記 福井の文化財 調査研究報告 第 5 号 無形の民俗文化財記録 第 28 集（群馬県）	八王子市教育委員会 福井県立博物館 岐阜県博物館 文化庁文化財保護部
岩手の懸仏 近代美術作品集 国立民族学博物館研究報告 8 巻 4 号	岩手県立博物館 〃 国立民族学博物館	伊良湖 6 16（田原町姫島自然環境調査報告書） 清水が丘遺跡発掘調査概報Ⅱ 犬田布貝塚	伊良湖自然科学博物館 府中市遺跡調査会 鹿児島県大島郡伊仙町教育委員会
第 31 回 全国博物館大会報告書 昭和 59 年 博物館指導者研究協議会報告書 昭和 58 年	日本博物館協会 〃	岡山理科大学紀要 第 19 号 A 自然科学 第 19 号 B 人文、社会科学	岡山理科大学
川原田遺跡 第 3 集 七ツ江遺跡（付・小平遺跡） 三根町史 第 4 集	肥前町教育委員会 肥前町教育委員会 三根教育委員会	ブルーム・コレクション書籍 目録 第 2 巻	横浜開港資料館
若江遺跡発掘調査報告書Ⅰ 遺物編	關東大阪市文化財協会	研究紀要 第 2 号	滋賀県立琵琶湖文化館
研究報告 第 8 集 茶人の旅 下小足立北遺跡発掘調査報告書	福岡市立歴史資料館 野村瑞典 狛江市教育委員会	鹿児島（鶴丸）城二之丸跡 福島県浜通りの海事習俗 〃 地方化石調査報告 火山灰地域における旧石器時代遺跡確認	鹿児島市教育委員会 福島県教育庁文化課 文化施設整備室 〃 〃

書名	寄贈者	書名	寄贈者
明石遺跡発掘調査報告	福島県教育庁文化課 文化施設整備室	34 モダンアート展 1984 要覧 昭和 59 年度	モダンアート協会 佐賀県教育センター
わが史談 (加瀬正一著)	加瀬正一	諸富町史	諸富町企画課
平野遺跡群	北波多村教育委員会	特別展 出雲の札所	島根県立博物館
商業捕鯨禁止は正当か? 科学者の目から	日本捕鯨協会	床浪海底遺跡	鷹島町教育委員会
捕鯨の実情を訴える	〃	長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅶ 今福遺跡 1	長崎県教育庁文化課
宮島の歴史と民俗 No.2	宮島町立宮島歴史民俗資料館	九州横断自動車道建設に伴う 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅶ	〃
駿台史學 第 60 号	駿台史学会	第 7 回 企画展はなひらく縄 文文化	栃木県立博物館
九州造形短期大学紀要 第 6 巻	九州造形短期大学	奈良・平安の中国陶磁	橿原考古学研究所附 属博物館
平塚市博物館所蔵資料目録 帷子峯遺跡	平塚市博物館 東海大学文学部考古 研究室	玩具の今昔 (特別展図録)	市立市川歴史博物館
研究紀要 1	(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団	記された世界	大阪府立泉北考古資料館
長崎県北松浦地方の文化	長崎県立美術・博物館	佐賀県統計調査一覧 (昭和 (昭和 58 年度))	総務部統計電算課
宇和島地方の自然	愛媛県立博物館	ピサロ展	福岡市美術館
親と子が自然に親しむための 小動物の飼育と採集	〃	博物館図録	忠南大学校博物館
愛媛県立博物館展示解説	〃	池守・池上一般国道 125 号埋 蔵文化財発掘調査	埼玉県さきたま資料館
研究報告 第 6 巻	香川県自然科学館	外房における漁具・漁法とそ の習俗	千葉県立安房博物館
研究報告 9 巻 1 号	国立民族学博物館	国東半島の石工 2	大分県立宇佐風土記 の丘歴史民俗資料館
半田山古墳群 A 小支群・半田 山Ⅱ遺跡	浜松市博物館	宇佐宮弥勒寺	〃
豊臣政権の研究	吉川弘文館	牟田池上遺跡	長崎県松浦市教育委 員会
第 58 回国展版画部図録	国画会版画部事務所	大阪府立大学紀要 第 32 巻	大阪府立大学
国画会彫刻部図録 1984	国画会彫刻部事務所	長家資料目録 Ⅰ 16	北海道開拓記念館
現代版画 ロンドンーニュー ヨーク	兵庫県立近代美術館	調査報告 Ⅰ 23	〃
小建築の世界	奈良国立文化財研究 所飛鳥資料館	産業 1 (収蔵資料分類目録 4)	〃
資料館紀要 第 12 号	京都府立総合資料館	北海道の馬籠 (資料解説シリ ーズ Ⅰ 7)	〃
白日会展総出品目録 第 1 回～第 59 回	白日会事務所	松前藩主一族書状集 Ⅱ (資料解説シリーズ Ⅰ 6)	北海道開拓記念館
白日会史 1	〃	第 70 回記念 光風会展作品集	社団法人光風会
遺跡は語る	群馬県立歴史博物館	工芸品資料目録	神奈川県立博物館
ふるさとのみほとけ -兵庫の仏像-	兵庫県立歴史博物館		
コフノ採遺跡	長崎県上対馬町役場		

書名	寄贈者	書名	寄贈者
長浜金久遺跡 外川江遺跡・横岡古墳 イノ祿遺跡 総合研究資料館展示解説	鹿児島県教育委員会 〃 豊玉町教育委員会 東京大学総合研究資料館	三陸沿岸の漁村と漁業習俗 (上巻) 解説肝煎以路波傳書(上巻) 里浜貝塚 I 近代絵画のみかた -美と表現-	東北歴史資料館 〃 〃 第一法規出版
斎藤真一作品集, 斎藤真一の 絵と語る	不忍画廊	日本美術年鑑 -昭和57年版-	美術研究所
北浦遺跡(小城町文化財調査 報告書 第2集)	小城町教育委員会	埼玉県民俗工芸緊急調査報告 書 第一集	埼玉県立民俗文化セ ンター
牛石窯跡記録報告書 商魂(歴史の群像)	佐世保市教育委員会 (株)日本アート, セン ター	埼玉県民俗工芸調査報告書 第二集	〃
九州文化史研究所紀要 №29	九州大学文学部九州 文化史研究施設	'84 船川の信願相摸 研究報告 第12号	〃 東京都高尾自然科学 博物館
金沢文庫資料全書 第2巻 研究報告 第9号 秋田のおいたち	神奈川県金沢文庫 秋田県立博物館 〃	東京都の自然 第10号 山口県の自然 第5巻第4号 研究報告 第10号	〃 山口県立山口博物館 〃
小矢部市埋蔵文化財調査報告 書 第12冊 小矢部市埋蔵文化財分布調査 概報 IV 小矢部市埋蔵文化財調査報告 書 第16冊 小矢部市埋蔵文化財分布調査 概報 V	富山大学人文学部考 古学研究室 〃 〃	赤坂遺跡 近代洋画名作展 恋の浦野外美術館開館図録	〃 飯塚市歴史資料館 京都国立近代美術館 城山観光株式会社津 屋崎事業部
本屋敷古墳群発掘調査概報 3	法政大学文学部考古 研究室	研究紀要 №9 収蔵資料目録 美術資料編 キッチンライフ(資料掲載の 為)	〃 〃 主婦と生活社
郷土資料事典(佐賀県・観光 と旅)	人文社	相笠昌義作品集 郷土と博物館 第29巻 第2号	(株)相笠昌義作品集 鳥取県立博物館
研究報告 №1 石井文庫目録 東京都美術館紀要 VII 1983年度	穂別町立博物館 東京都美術館 〃	クモ類目録 化石資料目録 8 京都府遺跡調査概報	〃 〃 鳥取県立博物館 (株)京都府埋蔵文化財 調査研究センター
要覧 昭和59年度 山谷古墳 泉佐野市埋蔵文化財調査報告 書 II	徳島県立博物館 巻町教育委員会 泉佐野市教育委員会	梵鐘鑄造遺構の現状とその諸 問題	〃
〃 〃 発掘調査 概要 IV	〃	西部瀬戸内における弥生文化 の研究 第3集	山口大学人文学部考 古学研究室
生目台住宅団地計画区域内埋 蔵文化財等調査報告書	宮崎市教育委員会	青少年へ贈る言葉 わが人生 論 佐賀編(上)	松本氏
宮崎市遺跡等詳細分布調査報 告書 I	〃	神田日勝-北辺のリアリスト- コレクションへの招待	北海道近代美術館 〃
研究紀要 第7巻	名古屋市博物館	<北海道の美術>'84 Lmage 道	〃

書名	寄贈者	書名	寄贈者
子どもと親の美術館'84 まなぶ, 創る	北海道近代美術館	神奈川県立博物館研究報告 自然科学 15号	神奈川県立博物館
サマーミュージアム'83 だまし絵, かくし絵, ふしぎな絵	〃	神奈川県立自然誌資料 5	〃
ワイド版 現代日本の花鳥画 国立歴史民俗博物館研究報告 第4集	国立歴史民俗博物館	沖縄県立博物館紀要 第10号 要覧 1984	沖縄県立博物館
愛媛の自然 第26巻 第1~6号	愛媛県立博物館内愛媛自然科学教室	横須賀市博物館研究報告 (人文科学, 第27号)	神奈川県立日本常民文化研究所
第2回素晴らしい巨匠たちの珍品展	フジカワ画廊福岡店	横須賀市博物館資料集 第8号	横須賀市自然博物館 〃 人文博物館
研究紀要 昭和58年度 ㊦9	宮崎総合博物館	神奈川県埋蔵文化財調査報告 26	神奈川県教育委員会
宝満山及び竈門神社周辺の遺跡分布調査報告書	㊦太宰府顕彰会	奈良女子大学構内遺跡発掘調査概報 II	奈良女子大学
眼鏡絵と東海道五拾三次展 特別展はにわ -よみがえる古墳文化-	神戸市立博物館	待兼山遺跡	大阪大学文学部国史研究室
特別展近世の衣裳美-小袖と浮世絵-	鳥取県立博物館	岩手の植物展	岩手県立博物館
大分県安心院町西戸方遺跡 1982	〃	展示資料解説カード3 ひとつの資料から 昭和58年度	〃
大分県安心院町宮ノ原遺跡 1982	安心院町教育委員会	篠塚跡群-発掘調査の記録から-	㊦京都府埋蔵文化財調査研究センター
〃 〃 2,1983	〃	京都府埋蔵文化財情報 第8号, 第9号, 第10号	〃
〃 〃 1984	〃	方眼美術論 (久米桂一郎著)	久米美術館
倉敷考古館研究集報 第18号	㊦倉敷考古館	展示品解説-考古資料-	国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
研究調査報告書 第11集 九州の中世美術	浦和市立郷土博物館	秋吉台科学博物館報告 ㊦19	秋吉台科学博物館
特別展ブッダ釈尊-その生涯と造形-	九州大学文学部美学・美術史研究室	横浜市管田町平台北遺跡群発掘調査報告書	玉川文化財研究所
国宝重要文化財分類目録1~7	奈良国立博物館	神奈川県大和市月野上野遺跡 第2地点発掘調査報告書	〃
名作プロムナード II	文化庁文化財保護部 美術工芸課	研究報告 5	岡山県立博物館
調査研究報告 1	フジキ画廊アートサロン	半田山B古墳発掘調査報告書 (II)	浜松市遺跡調査会 (浜松市博物館)
博物館概要	神奈川県立自然保護センター	紀要 10	埼玉県立博物館
調査研究報告 第4号	倉敷市立自然史博物館	東京湾の漁撈 (図録)	千葉県立安房博物館
	仙台市博物館	柏原市埋蔵文化財発掘調査概報 1983, II, III, V	柏原市歴史資料館
		柏原市遺跡分布図	〃
		発掘ノート	〃
		藤沢市片瀬大源太遺跡の発掘調査	青山学院大学文学部史学研究室



書名	寄贈者	書名	寄贈者
大宰府史跡 昭和 58 年度 発掘調査概報	九州歴史資料館	調査報告集 5	国立民族学博物館情報管理施設
収蔵資料目録 3	九州歴史資料館	後田遺跡 1983	鎮西町教育委員会
芸術研究報 5	筑波大学芸術学系	補説「鹿児島県の歴史と文化」	黎明館
学芸研究紀要 第 1 集	東京都教育委員会	所蔵品目録 (I) -美術・工芸-	〃
伊万里市の教育 1984	伊万里市教育委員会	薩摩焼年表	〃
古窯跡分布調査報告書	〃	有馬さとえと留岡松影	〃
近代洋画名作展	宮崎県立総合博物館	紀州の文化財	大阪市立博物館
静岡県立美術館紀要 第 1 号	静岡県教育委員会	日本美術年鑑 1947 ~ 1951 1953	東京国立文化財研究所
本渡市の古墳 (1)	本渡市 〃	相原遺跡	東京都教育庁文化課埋蔵文化財係
大庄屋勤方書付山方役勤方書付並関係文書	〃	下高洞遺跡	〃
海の忍者・陸の忍者	和歌山県立自然博物館	織島西分遺跡群 II	三日月町教育委員会
大阪城天守閣紀要 第 11 号, 第 12 号	大阪城天守閣	西之宮下郷	神田・大野遺跡発掘調査団
教育普及部門研究報告 1, 2, 3	埼玉県立自然史博物館	歴史資料調査報告書 (三) 図版篇	熊本県立美術館
研究報告 第 2 号	〃	歴史資料調査報告書 (三) 資料篇	〃
大分県内遺跡詳細分布調査概報 3	大分県教育委員会	本間美術館の 37 年 杖刀人とその時代	本間美術館 埼玉県立博物館
大野原の先史遺跡 第 65 輯	〃	第 15 回 東レ理科教育賞 受賞作品集 昭和 58 年度	朝東レ科学振興会
九州横断自動車道建設に伴う 発掘調査概報	〃	関の民俗	青森県立郷土館
一般国道 10 号中津バイパス 埋蔵文化財発掘調査概報	〃	はるばるとオランダ古地図展	神戸市立博物館
芸術グラフ 1984, 9	日本美術出版	日本史探訪 6 源平の争乱	角川書店
研究紀要 II	瀬戸市歴史民俗資料館	郷ノ木遺跡 B 地点 庄ノ前遺跡	武雄市教育委員会
平城京左京四条二坊一坪発掘 調査報告	奈良国立文化財研究所	六角川河川改修工事に伴う埋 蔵文化財発掘調査概報 4	〃
平城京左京三条二坊三坪発掘 調査報告	奈良国立文化財研究所	NHK 歴史への招待 32	日本放送出版協会
平城京左京二条二坊十三坪発 掘調査報告	〃	久留米藩御用絵師絵画資料目 録 (三) (四)	久留米市教育委員会
平城京発掘調査出土木簡概報 (17)	〃	東部土地区画整理事業関係埋 蔵文化調査報告書 第 3 集	〃
昭和 58 年度 平城宮跡発掘調 査部発掘調査概報	〃	筑後国府跡, 国分寺跡	〃
市道九条線関係遺跡発掘調査 概報 (II)	〃	四屋敷遺跡 II	〃
平城京右京八条一坊十一坪発 掘調査報告書	〃	尾崎遺跡	大分市 〃
		人物日本の歴史 ⑦	学習研究社
		「須恵器のはじまり」展	北九州市立考古博物館



書名	寄贈者	書名	寄贈者
日本の美術	至文堂	太田原遺跡 II	竹田市教育委員会
新訂福岡県文化財目録	福岡県教育委員会	菅生台地と周辺の遺跡Ⅱ	〃
福岡県文化財関係法規集	〃	米と日本文化－稲作2500年－	大阪市立博物館
文雅の交わり頼山陽を中心とした南画展	広島県立美術館	久米桂一郎代表作展	久米美術館
栗原中丸遺跡	神奈川県立埋蔵文化財センター	八雷古墳	行橋市教育委員会
裏八幡西谷遺跡	〃	下稗田遺跡調査概報 V (L地区)	〃
国立民族学博物館研究報告 9巻2号	国立民族学博物館	森山塚	国学院大学文学部考古学研究室
考古學論攷 第9冊	奈良県立橿原考古学研究所	物見処遺跡 1984	〃
奈良県遺跡調査概報 第1分冊, 第2分冊	〃	C A A ジャパン 図録	C A A 事務局
平隆寺 (三郷町)	〃	調査報告 5	神奈川県立埋蔵文化財センター
神奈川県伊勢原市大入遺跡発掘調査報告書	大入遺跡発掘調査団	Klee Kandinsky Miro	兵庫県立近代美術館
小西保文展図録	光悦洞	「漢委奴国王」金印	福岡市歴史資料館
1984 昭和 59 年版美術年鑑	㈱美術年鑑社	方保田東原遺跡 (2)	山鹿市教育委員会
「裸婦」 エロティックアート 100 年の歩み	実業之日本社	法華山乗寺の秘宝	兵庫県立歴史博史博物館
源平の美術展	下関市立美術館	博物館の概要	〃
第 33 回 全国美術館会議 総会報告書	全国美術館会議	藤原宮	飛鳥資料館
第 33 回 全国美術館会議 会員名簿	〃	後藤愛彦展	北九州市立美術館
研究紀要 1984.3 Vol.1	大分県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館	大庭勝郎遺作展	〃
一陽展 第 30 回記念集	一陽会	昭和 58 年度 新収蔵品展	〃
福岡文化連盟会員名簿	福岡文化連盟	広島県庄原市掛田町旧寺古墳群測量報告	広島大学文学部考古学研究室
伊倉遺跡	下関市教育委員会	日本の馬の絵 (中, 近世)	根岸競馬記念公苑馬の博物館
綾羅木郷遺跡	〃	所蔵品図録	〃
綾羅木川下流域の糸里遺跡	〃	研究報告 第 2 号	岩手県立博物館
蓮池上天神遺跡	佐賀市教育委員会	縄文の風景－大地と呪術－	〃
中国陶俑の美	名古屋市博物館	かぶとの美	福山市立福山城博物館
埋もれていた郷土の古代	小松市立博物館	街道<開館 5 周年記念>	群馬県立歴史博物館
塩野コレクション目録	東京国立博物館	玉の井 B 遺跡	基山町教育委員会
要覧	群馬県立博物館	重要文化財 吉村家住宅保在修理工事報告書	佐賀県教育庁文化課
金武良哲	池田正亮	大野城市文化財調査報告書 第 11 集, 第 12 集, 第 13 集	大野城市教育委員会
通り浦遺跡・剣塚遺跡	筑紫野市教育委員会	大野城市の文化財 第 16 集	〃
脇田遺跡	〃	聖衆来迎寺 (特別展図録)	滋賀県立琵琶湖文化館
目で見える佐賀百年史	佐賀新聞社	第 2 回近畿地方埋蔵文化財担当者研究会資料	㈱大阪文化財センター

書名	寄贈者	書名	寄贈者
城山遺跡現地説明会資料Ⅱ 笛吹段・兎沢古墳群発掘調査報告書	㈩大阪文化財センター 静岡県埋蔵文化財調査研究所	よみがえる古代文化－尾河遺跡の発掘－	知床博物館
貿易陶磁研究 Ⅵ 4 69. 二科画集	日本貿易陶磁研究会 二科会佐賀支部	縄文時代の気仙 第11回 創画展図録	大船渡市立博物館 創画会
国内出土の肥前陶磁 佐賀新聞百年史 縄文人のくらし 館蔵品目録 昭和59年8月	九州陶磁文化館 佐賀新聞社 長野市立博物館 岐阜県陶磁器陳列館	飯塚地方の絵馬 市川市史料目録 第1集 福岡市埋蔵文化財調査報告書 第102集	飯塚市歴史資料館 市立市川歴史博物館 福岡市教育委員会
10年のあゆみく開館10周年記念)	秋田県立博物館	” 第103集～第112集 国際シンポジウム新安海底引揚げ文物報告書	” 中日新聞
金澤文庫研究 第273号 鎌倉時代の手紙(神奈川芸術祭特別展)	神奈川県立金沢文庫 ”	ミロ回顧展 戦後の名作にみる人間像	福島県立美術館 ”
昔のくらしと遺跡、岩橋千塚の時代	和歌山県立紀伊風土記の丘資料館	現代東北美術の状況展 福島県立美術館所蔵作品抄	” ”
小山田二郎新作展図録 八王子の織物(特別展図録) 一閑藩展	東邦画廊 八王子市郷土資料館 岩手県立博物館	縄文時代の酒造具(有孔鏝付土器展)	山梨県立考古博物館
日本の歴史(下巻) 研究紀要 第3号 大阪の古城と武将 NHK年鑑 '84 鶴形山の自然－街のなかの社寺林－	学習研究社 兵庫県立近代美術館 大阪城天守閣 NHK佐賀放送局 倉敷市立自然史博物館	杉山寧 素描 正倉院展(昭和59年度) 特別史跡姫路城跡 「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」 修復研究所報告 Vol.3	サカモト画廊 奈良国立博物館 兵庫県立歴史博物館 埼玉県立さきたま資料館 創形美術学校修復研究所
新出資料による中世の美術 野見山暁治、宮崎進、脇田和 新作三人展図録	熊本県立美術館 杏美画廊	京都国立博物館概要 研究紀要 第10巻 福岡市文化財分布地区(西部Ⅱ)	京都国立博物館 東北歴史資料館 福岡市教育委員会
特別展 浮世絵	東京国立博物館	野津川流域の遺跡 V, IV 国立民族学博物館十年史 国立民族学博物館十年史 資料集成(付録)	野津町教育委員会 国立民族学博物館 ”
沖縄県の考古資料(土器)目録 今婦仁グスフ展、発掘資料展 新総合大地図 日本大百科全書1(あ～あい)	沖縄県立博物館 ” 小学館 ”	西管領屋敷やぐら群 日本洋画のあけぼの 折戸80号窯発掘調査報告書	神奈川県立埋蔵文化財センター 岐阜県立美術館 名古屋大学文学部名古屋屋研究室
帆船杏雨展 マイヨール展 図録 牧野義雄、敏太郎展 πの会展(彫刻) 富貴寺 知床半島西岸の地名と伝説	大分県芸術会館 兵庫県立近代美術館 豊田市郷土資料館 フジカワ画廊 歴史民俗資料館 知床博物館	友井東その1, 本文編, 図表別編 ART IN JAPAN TODAY Ⅱ 1970～1983 昭和57年度京都市埋蔵文化財調査概要	㈩大阪文化財センター 国際交通基金 ㈩京都市埋蔵文化財研究所

書名	寄贈者	書名	寄贈者
彫金の華一帖佐美行作品集一	日本経済新聞社 帖佐美行	特別展 住吉大社一歌枕の世界一	〃
第39回春の院展 全作品集(5)	財団法人日本美術院	佐賀県史料集成古文書編	佐賀県立図書館
再興第69回院展 〃 (6)	〃	日本史探訪 13.幕藩体制の軌跡	角川書店
諸員名簿(昭和60年1月)	〃	東高紀要	佐賀県立佐賀東高等学校
障屏画名作展	石川県立美術館		
茶道美術名品図録	〃		
愛媛の自然 第26巻第7号 ～第12号	愛媛県立博物館	如来寺跡, 田平城跡, 史跡宇 土城跡保存修理 Ⅱ	宇土市教育委員会
プロフィール	財団法人日本野生生物研究 センター	長野県信濃美術館所蔵品目録	長野県信濃美術館
にほんざる	〃	国際交流基金の概要	国際交流基金
展示解説	埼玉県立民俗文化セ ンター	THE JAPAN FOUNDATION	〃
十三塚 一現況調査編一	神奈川大学日本常民 文化研究所	国際交流 38	〃
The 骨董 第7集	読売新聞社	THE GREAT JAPAN EXHIBITION	〃
熊野堂遺跡(1)	群馬県埋蔵文化財調 査事業団	古硯名品展硯譜	精華堂
大釜遺跡金山古墳群	〃	北九州甲冑展	北九州市立歴史博物 館
伊原宇三郎展図録	伊原乙彰	第2回新選資料展	〃
九州横断自動車道関係埋蔵文 化財発掘調査概報 第6集, 第7集	佐賀県教育庁文化課	藤井達吉作品目録	岡崎市美術館
東多久バイパス関係埋蔵文化 財調査報告書	〃	原田睦八十八歳自選画集	原田麻那
佐賀県農業基盤整備事業に係 る文化財調査報告書2	〃	国立民族学博物館研究報告 第16回 日展作品集	国立民族学博物館
特別展 茶の湯の美	名古屋市博物館	平城京東市跡推定地の調査Ⅱ 第4次発掘調査概報	社団法人 日展
佐賀カトリック教会史 (1984～1982の回顧)	佐賀カトリック教会	奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和56年度	奈良市教育委員会文 化財課
ガンダール彫刻	ギャラリー欧亜	奈良市埋蔵文化財調査報告書 昭和58年度	〃
京都府遺跡調査概報 第7冊	財団法人京都府埋蔵文化財 調査研究センター	椿義則展 '85.1.5～2.3	下関市立美術館
京都府埋蔵文化財情報 第12号	〃	尾張の古代寺院と瓦	名古屋市博物館
岩手県内化石めぐり	岩手県立博物館	小林和作, 須田国太郎	山口県立美術館
財団法人宮本記念財団所蔵民具資料 及び旧下谷区池之端七軒町の 調査報告書(昭和57年度)	財団法人宮本記念財団	稻荷山遺跡, 発掘調査概報	筑波大学
堺その歴史と文化	堺市博物館	東岡遺跡一九重廃寺跡調査報 告一	〃
		古今書蹟絵画特選展	松屋銀座
		静岡県立美術館紀要, 第2号	静岡県教育委員会
		1970年以降の美術	東京都美術館
		坂本善三展	熊本県立美術館
		博多承天寺史	遠藤周甫
		五島美術館の名品	財団法人五島美術館
		岩佐又兵衛展	福井県立美術館

書名	寄贈者	書名	寄贈者
1985年刊, 美術名家監 羽佐島遺跡 I 本文編	美術倶楽部 香川県教育委員会文化行政課	研究報告 第6集 佐堂 その1	斜里町立知床博物館 大阪府教育委員会, 大阪文化財センター
“ 図版編	“	美術館概要 昭和57.58年版	板橋区立美術館
大浦遺跡 本文編	“	中世下野の仏教美術	栃木県立博物館
“ 図版編	“	肝煎以路波傳書(下巻)	東北歴史資料館
日本現代工芸美術 1984 雄獅美術雙年展 展示解説	東京都書院 雄獅美術月刊社	三陸沿岸の漁村と漁業習俗 (下巻)	“
芸術家年鑑 1985 半田山B古墳群(Ⅳ)	盛岡市子ども科学館 日本美術出版	木川土城 コクダシ遺跡	忠南大学校博物館 唐津市教育委員会
中島 市立旭川郷土博物館研究報告 第15号	浜松市博物館 国立中央博物館	後川内遺跡群(Ⅱ) 西浦遺跡	“
金大考古 第10号	国立中央博物館 市立旭川郷土博物館	十二原遺跡, 大原遺跡, 前中原遺跡	群馬県埋蔵文化財調査事業団
鳥羽離宮跡	金沢大学考古学研究室	久米美術館研究報告Ⅱ '84村勢要覧 東脊振村	久米美術館 東脊振村役場
国鉄連絡船写真展 常設展示図録	京都市埋蔵文化財研究所	蝶に魅せられ 蓮池鍋島家文庫目録, 倉永家資料目録	佐賀県立図書館
藝叢	横浜海洋学博物館	そつぎょうせいさくてん 駒方古屋遺跡	東京芸術大学 別府大学付属博物館
国立科学博物館蔵書目録 神ノ崎遺跡 金武吉哲 樞原考古学研究所紀要 考古学論攷	北九州市立考古博物館 筑波大学芸術学系芸術学研究室	研究報告 第5号 紅花関係資料所在目録	山形県立博物館 “
奈良県文化財調査報告書 第42集	国立科学博物館 小値賀町教育委員会	昭和59年度九州芸術祭 文学賞作品集15号	九州文化協会
日新読本	池田正亮 奈良県立樞原考古学研究所	柏原市文化財報告1984-Ⅱ 日本民俗大系 家と女性	柏原市歴史資料館 小学館
(図録) 南州精神をさぐる 九州の版画展 10周年記念誌 戦国合戦事典 少武氏と宗氏 第4号 久米博士, 九十年回顧録 (上巻)	“	国学院大学考古学資料館要覧	国学院大学考古学資料館
“ (下巻)	佐賀市立日新小学校 PTA	DAVID NASH 植物目録	福岡市美術館 箱根町立箱根湿生花園
音楽取調掛特別展目録 明治, 大正, 文学全集 第39巻	黎明館 福岡市美術館 塩田町文化協会 三省堂 少武, 宗体制懇話会 宗高書房	執睨録 研究報告 第5号	別府大学付属博物館 北九州市立自然史博物館
	“	熊本県装飾古墳総合調査報告書	熊本県教育委員会
	東京芸術大学 吉田絃二郎	中世のくらし 展示解説 かわちのくに 鍋島藩とキリシタン 羽咋市柳田シャコデ遺跡	東大阪市立郷土博物館 “ 佐賀新聞社 石川県立埋蔵文化財センター

書名	寄贈者	書名	寄贈者
羽咋市気多社僧坊跡群	石川県立埋蔵文化財センター	現代版画の軌跡展図録	埼玉県立近代美術館
鹿首モリガフチ遺跡	〃	南部藩検地検見作法書	税務大学校
花見月遺跡	〃	絵巻の世界	北海道立近代美術館
柳田タンワリ1号窯跡	〃	日本の硝子	〃
敷地天神山遺跡	〃	田中忠雄展	〃
拓影 第16号, 第17号	〃	水	〃
三日月町史(上巻)	三日月町史編纂委員会	リズムをみる	〃
楠本宗平日本画展	楠本宗平	かぞえるかたち	〃
東日本の縄文文化	辰馬考古資料館	北武蔵の農具 目録編	埼玉県立さきたま資料館
銅鐸	〃	〃 写真編	〃
摂津旧清遺跡	〃	〃 実測図編	〃
塩田町史 上巻, 下巻	塩田町教育委員会	有田町史 陶業編 I	有田町
歴史資料集	佐賀県中学校教育研究会社会科部会	有田皿山の方言	〃
九州グラフィックデザイン展	九州グラフィックデザイン協会	大沢第4・5地点遺跡・発掘調査報告書	湖西市教育委員会
名家真蹟書画幅図録	巖南堂	青平古窯跡・新古古窯跡発掘調査報告書	〃
研究報告 第10号	岡山理科大学	観音山遺跡・発掘調査報告書	〃
北海道所蔵簿書件名目録 第2部	北海道総務部	国道1号線潮見バイパス宿南64遺跡	〃
学術雑誌目録	国立民族学博物館	宇座の民話	読谷村教育委員会
九互会展	フジカワ画廊	南山第15・34号窯発掘調査報告	瀬戸市歴史民俗資料館
国立科学博物館専報 第17号	国立科学博物館	吉野遺跡	大牟田市教育委員会
江戸の風俗	埼玉県立博物館	密柑山古墳群	〃
富士の古墳文化	富士市立博物館	風蓮遺跡	〃
文蔵貝塚	熊大文学部考古学研究室	今町遺跡	〃
サモト遺跡(1)	〃	甘木山遺跡	〃
尹武炳博士回甲記念論叢	回甲記念論叢刊行委員会	羽山台遺跡	〃
伐株山城跡	玖珠町教育委員会	毛無貝塚	〃
久富邦夫回顧展図録	久富邦夫	内山城跡 I	〃
研究論文集 第32集 第2号(Ⅰ), (Ⅱ)	佐賀大学教育学部	石櫃山古墳	〃
小池遺跡	神奈川県立埋蔵文化財センター	岩本南部地区遺跡	大牟田市教育委員会
緑丘窯跡	豊中市教育委員会	天満神社石造狛犬	〃
桜井谷窯跡群2-17窯跡	〃		
職人の世界	名古屋市博物館		
芸術学部研究報告	九州産業大学		

## 茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

### 1 茶室の規模および施設

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で12年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に滲透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

設計者 堀口捨己 東京都太田区山王4-6-5  
 早川正夫 東京都港区青山5-9-12  
 アイザワビル

構造 木造平家建寄棟造り

規模 床面積 57.35 cm

### 2 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、12年目に入り県内はもとより県外にも広く周知され、好評を得ている。

今年度は、各流の茶道グループ、婦人学級、青年団、学校などの団体あるいは、茶道愛好会など利用者の幅もさらに広まり、社会教育、学校教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は下記の通りである。

昭和59年度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4	1	10	8
5	1	9	4
6	1	17	22
7	0	0	3
8	1	14	10
9	1	107	10
10	2	24	10
11	1	5	61
12	3	43	0
1	2	81	5
2	0	0	6
3	0	0	4
計	13	310	143

### 3 茶道具備品

(1) 昭和59年度末の概況は次のとおりである。  
 191点。

掛物（淡々斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、売茶翁の二行書、千宗佐、千代尼）  
 花入（胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼

「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崧作」、備前焼、竹花入「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、青磁鶴首花入「小笠原崧作」)

香合・香炉（「12代今泉今右衛門作」、「井上萬二作」、黒牟田焼「丸田正美作」、「宗祥作」、菊花書詰蒔絵卵香合「助市作」、「13代今泉今右衛門作」、「源右衛門作」)

茶碗（唐津奥高麗「中里無庵作」、絵唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崧作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒楽茶碗「小川長楽作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼、高麗斗々屋「千漢鳳作」)

水指（信楽焼「高橋楽斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門」、高麗「千漢鳳作」)

薄茶器（沈金聚「安村稔作」)

濃茶器（13代酒井田柿右衛門作)

茶杓（宗泰作)

風炉（利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉)

釜（切合釜・竹紋線口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲竜釜「高橋敬典作」、尻張釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横倉嘉山作」)

棚（竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長坂)

火入（染付「12代今泉今右衛門作」)

菓子器（唐津焼「13代太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、青磁「中島宏作」、現川焼)

建水（不審庵伝来写「11代中川浄益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅)

風炉先屏風（秋草蒔絵)

炉縁（高台寺蒔絵「柴田利雄作」)

曲湯桶、置炉、瓶掛、蒔繪塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

昭和59年度

佐賀県立美術館

## 美術館の沿革

昭和55年3月	県政百年記念事業の一環として、昭和58年開館を目指し、佐賀県立美術館の建設を決定。
昭和55年4月25日	佐賀県立美術館建設委員会設置。
昭和55年12月10日	安井建築設計事務所による基本設計採用。
昭和56年3月31日	安井建築設計事務所による実施設計採用。
昭和56年10月26日	佐賀県立美術館建設着工。
昭和58年1月31日	佐賀県立美術館建設完工。
昭和58年4月1日	佐賀県立美術館設置条例施行。
昭和58年4月1日	佐賀県博物館及び美術館協議会条例施行。
昭和58年4月1日	佐賀県立美術館処務規則施行。
昭和58年10月7日	山口亮一遺作64点を山口三千也氏より寄贈受く。
昭和58年10月8日	佐賀県立美術館落成式、開館記念展「近代・九州の洋画家たち展」開かる。 (以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。 ここには点数の特に多いもののみを記載しました。)

## 美術館日誌（昭和59年度）

4月1日	職員人事異動	9月23日	佐賀新聞学生書道展（9月30日迄）
4月21日	「伝統工芸30年の歩み展」開場式 (5月27日迄)	10月6日	日本の美展（11月4日迄）
5月15日	平松老人大学講義（研修室）	10月10日	「日本の美」展映写会（ホール）
6月1日	光風会展（6月10日迄）	10月13日	“ ” （ “ ” ）
6月15日	佐賀美術協会展（6月24日迄）	10月14日	“ ” （画廊）
6月19日	平松老人大学講義（研修室）	11月11日	佐賀県高等学校芸術祭美術書道展 (11月18日迄)
6月29日	第68回二科展（7月8日迄）	11月28日	佐賀県美術展（12月9日迄）
7月7日	デッサン教室開講	12月12日	エマ会展（12月16日迄）
7月11日	佐賀県写真協会展（7月15日迄）	1月15日	さが行動展（1月20日迄）
	青華展並びに九州正筆会展	2月13日	書初書道展（2月17日迄）
7月18日	独立C・S展（7月22日迄）	2月20日	佐賀大学教育学部美術工芸科卒業制作 (2月24日迄)
7月25日	書作家協会展（7月29日迄）		
8月1日	佐賀県勤労者美術展	2月23日	映写会（ホール）
8月21日	EVEN T'84 絵画展（8月26日迄）	2月27日	九州グラフィックデザイン展
8月29日	七夕書道展（9月2日迄）		(3月3日迄)
9月12日	東光会展（9月16日迄）	3月6日	第15回きしま展（3月10日迄）
9月21日	九州新工芸展（9月30日迄）	3月19日	久富邦夫回顧展（3月24日迄）

## 規模および施設

構造 鉄筋コンクリート造 一階建 一部二階建

規模	敷地面積	7,986 m <sup>2</sup>
	建築面積	3,644 m <sup>2</sup>
	延床面積	4,238 m <sup>2</sup>

## 施設

1号展示室	204 m <sup>2</sup>	3号展示室	250 m <sup>2</sup>
2号展示室	230 m <sup>2</sup>	4号展示室	366 m <sup>2</sup>

収蔵庫	319 m <sup>2</sup>	和楽室・洋楽室	39 m <sup>2</sup>
収蔵庫前室	26 m <sup>2</sup>	準備室	18 m <sup>2</sup>
荷解場	120 m <sup>2</sup>	映写室	12 m <sup>2</sup>
倉庫	79 m <sup>2</sup>	機械室	47 m <sup>2</sup>
画廊・準備室	137 m <sup>2</sup>	倉庫	13 m <sup>2</sup>
研修室	135 m <sup>2</sup>	便所	34 m <sup>2</sup>
事務室	148 m <sup>2</sup>	ホワイエ	126 m <sup>2</sup>
写真室・暗室	58 m <sup>2</sup>	休憩室	56 m <sup>2</sup>
機械室	80 m <sup>2</sup>	便所	93 m <sup>2</sup>
倉庫	5 m <sup>2</sup>	廊下・階段等	1,114 m <sup>2</sup>
ホール	529 m <sup>2</sup>		

※組織は全て博物館と同様であり、博物館職員全員がそれぞれ対応する職を兼務している。

### 昭和59年度歳出予算（美術館）

科 目	予算額（単位千円）	科 目	予算額（単位千円）
(美術館費)		資料収集費	200
1. 管理運営費	46,838	3. 調査研究費	169
管理費	46,726	研究費	94
会議及び研修費	112	調査費	75
2. 資料整備費	82,760	4. 企画展費	4,105
資料購入費	67,174	5. 常設展費	1,925
資料整理費	15,386	計	135,959

# 事業の実施状況

## 1. 常設展（美術館）

第一期 4月1日～4月15日

第二期 7月20日～9月7日

第三期 12月16日～3月31日

### I 彫塑 古賀忠雄 <第一・二期>

（1号A展示室）

彫塑 飛ぶ、鮭、草原を行く、練磨、猫と女、想、伸びる、二人の女、太陽の園、花売り、鶏舎の朝、団欒、マドリッドの女、愛と平和、流れに立つ、浴後、婦人像、語らい、春うらら、ジャワ男神、神童馬に乗る、駒、のどか、抱っこ、収穫

レリーフ……語らい

絵皿……魚絵皿

### ※ 彫塑 古賀忠雄 <第三期>（1号A展示室）

彫塑 マドリッドの女、伸びる、花売り、かんだし、流れに立つ、練磨、愛と平和、二人の女、婦人像、草原を行く

## II 現代の工芸（1号B展示室）

### 陶磁 <第一・二・三期>

唐津叩き壺（12代中里太郎右衛門）

色絵草花文蓋物（12代酒井田柿右衛門）

色鍋島更紗文八角大鉢（12代今泉今右衛門）

五彩布目霊獣文大皿（初代松本佩山）

白磁牡丹彫文瓶（初代奥川忠右衛門）

### 茶陶 <第三期>

唐津奥高麗茶碗（中里無庵）

志野茶碗（荒川豊蔵）

高麗茶碗（千漢鳳）

### 染織 <第一・三期、但し三期は3月2日まで>

鈴木照次作木版摺竹文着物、木版摺松文着物、木版摺松の花文着物

<第二・三期、但し三期は3月26日から>  
城秀男作染色「開放」「現代想」

<第二期>

相島正彦作佐賀錦三ツ折バッグ「流水」

「菱」「藤」「渚」

### 金工 <第三期、但し3月26日から>

石田英一作葡萄栗鼠像、菅公像

作者不詳鍍金壺

## III 近代絵画 <第一期>（2号展示室）

百武兼行 マンドリンをもつ少女、老婦人像、耕作、鍋島直大像、タンバリンを持つ少女  
岡田三郎助 花野、婦人半身像、西洋婦人像、若き娘の顔、老人像

黒田清輝 画室内

藤島武二 裸婦、蘇州河激戦の跡、裸婦、老人像

青木 繁 ランプ、神話、男の像

### ※ 近代絵画 <第二期>（2号展示室）

百武兼行 マンドリンをもつ少女、老婦人像、耕作、鍋島直大像、タンバリンを持つ少女

久米桂一郎 泊船、加茂川の新緑、残嚙下絵

岡田三郎助 花野、婦人半身像、西洋婦人像、若き娘の顔、老人像

（3号展示室）

高木背水 農家の朝、風景、金剛山

北島浅一 画家の妹

御厨純一 ロワール橋畔

三根霞郷 アイヌの顔、円山公園夏の陰

山口亮一 鳥と子供

武藤辰平 ヘーグ市街

納富 進 村落（スペイン）

松本弘二 滞船

### ※ 近代絵画 <第三期>（2号展示室）

百武兼行 耕作、パーナード城下絵、老婦人像、タンバリンを持つ少女、鍋島直大像

久米桂一郎 泊船、加茂川の新緑、残嚙下絵

岡田三郎助 西洋婦人像、富士山、花野、若き娘の顔、伊豆山

関連資料 岡田三郎助遺品（イーゼル、パレット等）、北村西望作久米桂一郎胸像

（3号展示室 但し、3月17日まで）

青木 繁 男の像、ランプ、神話、朝日、夕焼けの海、筑後風景、浴女

藤島武二 老人像、裸婦、裸婦

辻 久 須磨初秋

海老原喜之助 衣を与う

佐伯祐三 八百屋  
斎藤与里 婦人像  
中西利雄 H氏像

内山 孝 オーベル秋意, 夏の海ヴェネチ  
ア  
村岡平蔵 風, テラコッタ  
甲斐仁代 二人の人形の静物, 静物  
小栗 潮 陽, ぼたん  
彫塑 山本民二 アトリエの午後

Ⅳ 近代の書 <第一期> (2号展示室)

副島種臣 李白詩「登金陵鳳凰臺」屏風  
二行書(孝子云々)  
中林梧竹 二行書屏風(吹簫云々)  
五絶詩三行書(晋唐云々)  
〃 (磨来云々)

※ 近代の書 <第二期> (2号展示室)

副島種臣 杜甫詩「蜀相」屏風, 三行書(必得云々)  
中林梧竹 十七帖臨書屏風(十七云々)  
拓影・鎮国之山  
五絶詩三行書(黄丈云々)  
〃 (日午云々)  
拓本・多久茂文碑文  
〃・副島種臣墓碑銘

※ 近代の書 <第三期 但し, 3月17日まで>  
(2号展示室)

中林梧竹 桐図屏風  
唐詩屏風(己見云々)  
事君忠臨民恵屏風  
拓本・江越礼太碑文  
〃・江口定保碑文  
〃・谷口藍田碑文

Ⅴ 現代美術 <第一期> (3号展示室)

絵画 石本秀雄 K子の座像  
村岡平蔵 裸婦  
納富 進 竜王峠  
松本弘二 春雪  
山口猛彦 黒い椅子の部屋  
宮地 享 雨後  
古沢岩美 洪水, 女三代  
立石春美 櫛巻の女, 早乙女  
池田幸太郎 三宅坂付近, 罫  
池田龍雄 砦, 百仮面, 戦利品  
彫刻 中島快彦 そしてひと, ホワイト・ホール

Ⅵ 新収蔵品展 <第三期・但し, 3月20日から>  
(3号展示室)

絵画 江口 良 サレジオの見える森, 入江, 接吻, 静物  
三根霞郷 竹林, 雪景, 日吉町瓦焼, 境内, 荷車を引く人, 自画像

2. 企画展

東京国立博物館巡回展

日本の美 — 縄文から江戸時代まで —

主 権 東京国立博物館, 佐賀県教育委員会, 佐賀  
県立美術館

会 期 昭和59年10月6日(土)~11月4日(日)

会 場 佐賀県立美術館 2号, 3号, 4号展示室

観覧料 有料 大人 大・高生 中小生

個人 500 250 150

団体 (350) (150) (100)

展示概要

東京国立博物館では, 同館陳列品により毎年巡回展を開催している。23回目をむかえた今回の展覧は, 日本の縄文から江戸時代までの各時代, 各分野にわたる特色ある美術品を一堂に展覧し, 日本の多彩な美の伝統を総合的に見ようとするものであった。

展示品には, 教科書等ですでに知られた名品から, 谷口古墳出土品, 県内の陶磁器, 肥前刀など佐賀にゆかりのものも含まれ, 好評であった。



出品目録

先 史

番号	指定	名 称	員 数	時 代
1		深鉢形土器 東京都秋川市草花出土	1 個	縄文中期
2		深鉢形土器 栃木県那須郡黒羽町出土	"	"
3		壺形土器 秋田県仙北郡六郷町石名館出土	"	縄文晩期
4		注口土器 東北地方出土	"	"
5		皿形土器 東北地方出土	"	"
6		土 偶 埼玉県鴻巣市滝馬室出土	"	縄文後期
7		壺形土器 名古屋市瑞穂区牧町出土	"	弥生後期
8		甕形土器 名古屋市瑞穂区瑞穂町出土	"	"
9		高坏形土器 "	"	"
10		壺形土器 宮崎県西臼杵郡高千穂町岩戸出土	"	弥生中期
11		甕形土器 "	"	"
12		細形銅剣 福岡県糸島郡前原町井原出土	1 口	"
13		平形銅剣 愛媛県松山市道後今市出土	"	弥生後期
14		銅 戈 佐賀県鳥栖市柚比町安永田出土	"	弥生中期
15		銅 戈 佐賀県東松浦郡浜玉町谷口出土	"	"
16		銅 矛 佐賀県唐津市久里出土	"	"
17		流水文銅鐸 岡山県吉備郡真備町妹出土	1 個	"
18		袈裟襷文銅鐸 和歌山県日高郡日高町荊木出土	"	弥生後期

原 史

19		谷口古墳出土品 佐賀県松浦郡浜玉町谷口古墳出土	—	括	古墳4~5C
20		三角縁二神二獸鏡 京都府長岡京市南原古墳出土	1	面	古墳4C
21		三角縁二神二獸鏡 静岡県磐田市松林山古墳出土	"	"	"
22		須惠器裝飾付脚付埴 岡山県邑久郡長船町出土	1	個	" 6C
23		埴輪男子 群馬県太田市由良出土	1	体	" 6~7C
24		" 女子 群馬県群馬郡箕郷町上芝出土	"	"	" 6C
25		" 盾 群馬県藤岡市出土	1	個	" 6~7C
26		" 馬 埼玉県深谷市上敷免出土	1	体	"
27		" 切妻造家 宮崎県西都市西都原出土	1	個	" 5C

有 史

28		蓮華文鏡瓦 奈良県高市郡明日香村飛鳥寺出土	1	個	飛鳥6C
29		蓮華文鏡瓦 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺出土	"	"	奈良7C
30		忍冬唐草文字瓦 "	"	"	"
31		蓮華文鏡瓦 奈良県高市郡明日香村大官大寺跡出土	"	"	"
32		唐草文字瓦 "	"	"	"
33		蓮華文鏡瓦 奈良県橿原市高殿町藤原宮跡出土	"	"	"
34		唐草文字瓦 "	"	"	"
35		須惠器骨壺 奈良県磯城郡三宅町伴堂出土	"	"	" 8C
36		銅製経筒 静岡県沼津市岡一色三明寺出土	"	"	鎌倉1196
37		陶製外筒 "	"	"	"

絵画

番号	指定	名	称	員数	時代
38		五髻文殊像		1 幅	鎌倉 14 C
39		地藏菩薩像		" "	" "
40		春日本地曼荼羅図		" "	" "
41	◎	因幡堂縁起		1 巻	" 13 C
42		鼠草紙		" "	室町 15 C
43	◎	蘭蕙同芳図	玉畹梵芳	1 幅	" 14 C
44		山水図 竺雲等連賛	伝周文	" "	" 15 C
45		靈昭女図	圭叱斎	" "	" 16 C
46		周茂叔・林和靖図屏風	狩野深幽	6 曲 1 双	江戸 17 C
47		猿曳図	狩野尚信	1 幅	" "
48		新三十六歌仙図帖	狩野永納	1 帖	" "
49		秋郊鳴鶴図	土佐光起・光成	1 幅	" "
51		橋姫物語絵巻	伝住吉具慶	1 巻	" "
51		木工権守孝道図	冷泉為恭	1 幅	" 19 C
52		藤・牡丹・楓図	本阿弥光甫	3 幅	" 17 C
53		六遠山水図	池大雅	6 幅のうち 2 幅	" 18 C
54		蘭亭曲水図屏風	与謝無村	6 曲 1 双	" "
55		花鳥図	岡本秋暉	1 幅	" 19 C
56		耶馬溪図巻	杜秋艇	1 巻	" "
57		虎嘯生風図	円山応挙	1 幅	" 18 C
58		西行と遊女図	奥村政信	" "	" "
59		二美人図	歌川豊国	1 幅	江戸 18 C

書跡

60	●	賢愚経残巻(大聖武)	伝聖武天皇	1 巻	奈良 8 C
61		仏説宝雨経(天平十二年五月一日経)		" "	" "
62		紺紙銀字華嚴経巻第十六残巻(二月堂焼経)		" "	" "
63		後撰集切	伝源俊頼	1 幅	平安 12 C
64		石山切(貫之集 下)	藤原定信	" "	" "
65		田歌切	伝寂蓮	" "	" "
66	◎	大唐西城記		12巻のうち 1 巻	" "
67		明月記	藤原定家	1 巻	鎌倉 13 C
68		詠草	後柏原天皇	1 幅	室町 16 C
69		和歌巻	本阿弥光悦	1 巻	桃山 17 C
70		和歌屏風	近衛信尹	6 曲 1 双	" "
71	○	龍虎二大字	後陽成天皇	1 幅	" 16~17 C
72		書状	烏丸光広	" "	江戸 17 C
73		詠草	北村季吟	" "	" "
74		一行書	北島雪山	" "	" "
75		唐詩五言絶句	池大雅	" "	" 18 C
76		一行書	皆川洪園	" "	" 18~19 C
77		桜賦	佐久間象山	" "	" 19 C

番号	指定	名	称	員数	時代
78		詩書屏風	貫名菘翁	6 曲 1 双	"
79		七言絶句	頼山陽	1 幅	"

彫刻

80		帝釈天立像		1 軀	平安 10 C
81		阿弥陀如来立像		"	鎌倉 13~14 C
82		行道面 多聞天		1 面	"
83		" 功德天		"	"

金工

84		金銀平脱八角鏡 (模造)		1 面	原品・正倉院 奈良 8 C
85		金銅柄香炉		1 柄	平安 12 C
86	◎	瑞花双鳳八稜鏡		1 面	"
87		和鏡 山形県羽黒山出土		6 面	"
88		蓬萊鏡		1 面	鎌倉 13 C
89		松梅文釜 (芦屋)		1 口	室町 15 C
90		八角霞釜		"	桃山 17 C
91		胴乱		1 個	江戸 17 C
92		花籠形釣香炉		1 基	" 19 C
93		鶉香炉 津村亀女		1 対	" 18 C

刀 劍

94		刀 銘国広		1 口	桃山 17 C
95		刀 銘大隅掾藤原正弘 慶長十一年三月吉日		"	"
96		刀 銘肥前国忠吉 慶長五年八月吉日		"	" 16 C
97		刀 銘肥前国住人忠吉作 (土佐守忠吉) 寛永五年八月吉日		"	江戸 17 C
98		刀 銘肥前国住人伊予掾源宗次		"	"
99	○	短刀 銘繁慶		"	桃山 17 C
100		脇指 銘 (葵紋) 以南蛮鉄於武州江戸越前康継骨喰吉光模		"	"
101		金梨地葵紋散糸卷太刀拵		"	江戸 17 C
102		黒塗刻鞘大小拵		1 腰	" 18 C
103		琴柱・大根・雪華文透鐔 無銘甲冑師		1 枚	室町 16 C
104	○	漁舟図鐔 銘山城国伏見住金家		"	桃山 16 C
105		松上鷹図鐔 無銘志水甚五		"	江戸 17 C
106	◎	巴透鐔 銘信家		"	桃山 16 C
107		ハツ蕨手透鐔 無銘林又七		"	江戸 17 C
108		稻穂文鐔 銘吉岡因幡介		"	" 18 C
109		鼓透鐔 銘在哉		"	"
110		葡萄栗鼠図鐔 銘長門萩住中井善助友恒作		"	"
111		一輪牡丹図鐔 銘夏雄製		"	" 19 C
112		水辺鷺図鐔 銘以徐熙図彫鑄其昇亭光弘 (花押)		"	"
113		枝桃図三所物 銘紋宗乗光侶 (花押)		"	室町 16 C
114		草花に虫図三所物 銘後藤一乗 (花押)		"	江戸 19 C

## 漆 工

番号	指定	名 称	員 数	時 代
115		千鳥蒔絵手箱	1 合	鎌倉 13 C
116		橘千鳥蒔絵硯箱	"	室町 15 C
117		扇面塩山蒔絵手箱	"	"
118		菊桐紋蒔絵角盥	"	桃山 16 C
119		花鳥蒔絵螺鈿櫃	"	"
120		貝蒔絵大鼓胴	1 本	" 17 C
121		瓜茄子蒔絵大鼓胴	"	" 16 C
122		岩牡丹蒔絵鞍鏡	1 具	江戸 18 C
123		桐鳳凰蒔絵高盤	1 基	"
124		秋景蒔絵料紙硯箱	1 具	" 19 C
125		貝尽蒔絵花見弁当	1 組	" 18 C
126		萩蝶蒔絵手箱 沢田宗沢斎	1 合	明治 19 C

## 陶 磁

127		自然釉蓋付壺	須恵	1 口	奈良 8 C
128		灰釉蓋付壺	猿投	"	平安 10 C
129		灰釉蓮弁文大壺	渥美	"	" 12 C
130	◎	黄釉牡丹唐草文広口壺	古瀬戸	"	鎌倉 14 C
131		褐釉印花牡丹文広口壺	"	"	"
132		自然釉刻文大壺	信楽	1 口	室町 15 C
133		自然釉大壺	越前	"	"
134		耳付水差	備前	"	桃山 16 C
135		耳付花生	伊賀	"	" 17 C
136		志野橋文茶碗 銘橋姫	美濃	"	" 16 C
137		織部枳文角鉢	"	"	" 17 C
138		朝鮮唐津一重口水指	唐津	"	"
139		彫唐津茶碗	"	"	" 16 C
140		絵唐津竹文茶入	"	"	" 17 C
141		染付山水文大鉢	伊万里	"	江戸 17 C
142		黄釉染付草花文四方鉢	"	"	"
143		色絵花卉文壺	"	"	"
144	◎	色絵花鳥文大深鉢	伊万里 (柿右衛門様式)	"	"
145		色絵更紗文大皿	"	1 枚	"
146		染付雪景山水図大皿	鍋島	"	" 17~18C
147		色絵巻軸文皿	"	"	"
148		色絵蝶牡丹文大皿	古九谷	"	" 17 C
149		色絵牡丹文水指	野々村仁清	1 口	"
150		染付龍瀟文提重箱	青木木米	"	" 19 C

染 織

番号	指定	名 称	員 数	時 代
151		薄黄縮緬地桐和歌文字模様振袖	1 領	江戸 18 C
152		納戸縮緬地草花模様小袖	〃	〃
153		赤綸子地葛檜扇模様打掛	〃	〃
154		敷瓦菊芒模様唐織	〃	〃 17 C
155		鱗形槌車模様厚板	〃	〃 18 C
156		緑紹地菊花東牡丹折枝模様長絹	〃	〃 19 C

- 国 宝
- ◎ 重要文化財
- 重要美術

その他の企画展（美術館）

東光会展	東光会, 佐賀新聞社, 佐賀県立美術館	9/12 ~ 9/16
九州新工芸社	九州新工芸連盟, 佐賀県立美術館	9/21 ~ 9/30
佐賀新聞学生書道展	佐賀新聞社	9/23 ~ 9/30
佐賀県高等学校芸術祭美術書道展	佐賀県教育委員会, 佐賀県高等学校美術連盟, 佐賀県高等学校書道教育研究会, 佐賀県立博物館, 佐賀県立美術館	11/11 ~ 11/18
第34回佐賀県美術展	佐賀県, 佐賀県教育委員会, 佐賀県立博物館, 佐賀県立美術館	11/28 ~ 12/9
エマ会展	エマ会	12/12 ~ 12/16
佐賀大学美術科総合展	佐賀大学教育学部	12/19 ~ 12/23
佐賀行動展	さが行動会	1/15 ~ 1/20
書初書道展	佐賀県書道教育連盟, 佐賀県立美術館	2/13 ~ 2/17
佐賀大学教育学部美術工芸科卒業制作展	佐賀大学教育学部, 佐賀県立美術館	2/20 ~ 2/24
九州グラフィックデザイン展	九州文化協会, 九州グラフィックデザイン協会, 九州各県, 北九州市, 福岡市, 九州各県教育委員会, 佐賀県立美術館	2/27 ~ 3/3
第15回きしま展	グループ「きしま」	3/6 ~ 3/10
久富邦夫回顧展	久富邦夫回顧展実行委員会	3/19 ~ 3/24
伝統工芸30年の歩み展	東京国立近代美術館, 朝日新聞社, 佐賀県立美術館	4/21 ~ 5/27
光風会展	光風会, 佐賀新聞社, 佐賀県立美術館	6/1 ~ 6/10
佐賀美術協会展	佐賀美術協会, 佐賀県立美術館	6/15 ~ 6/24
第68回二科展	二科会, 佐賀新聞社, 佐賀県立美術館	6/29 ~ 7/8
佐賀県写真協会展	佐賀県写真協会	7/1 ~ 7/15
菁華展並びに九州正筆会展	正筆会, 九州正筆会	7/11 ~ 7/15
独立C.S展	佐賀独立C.S	7/18 ~ 7/22
書道家協会展	佐賀県書道家協会, 佐賀県立美術館	7/25 ~ 7/29
佐賀県勤労者美術展	佐賀県, 佐賀県立美術館	8/1 ~ 8/5
EVENT'84 絵画展	EVENT	8/21 ~ 8/26
七夕書道展	佐賀県書道教育連盟	8/29 ~ 9/2

美術館 2, 3, 4 号	東光会会員による油絵, 水彩等 112 点を展示。
美術館 4 号	九州新工芸家連盟の会員, 会友と一般公募の染織, 陶芸, 木竹等 113 点を展示。
美術館 4 号	県内の児童, 生徒を対象にし, 792 点を展示。
美術館 2, 3, 4 号	本県高等学校美術教育の振興と高校生の芸術文化活動の交流及びその向上をはかるもので絵画・書等 322 点を展示。
美術館 2, 3, 4 号	日本画, 洋画, 彫塑, 工芸, 書, 写真, デザインの各部門で県内から一般公募を行い, 入選作に審査員及び物故者の作品を加え 467 点を展示。
美術館 4 号	エマ会会員の油絵, 水彩等 82 点を展示。
美術館 4 号	佐賀大学教育学部美術・工芸科の学生により洋画, 日本画, 彫塑, デザイン等 140 点を展示。
美術館 4 号	行動会会員による油絵, 水彩等を展示。
美術館 4 号	小・中・高校生及び一般公募の書 789 点を展示。
美術館 4 号	佐賀大学教育学部美術・工芸科の卒業制作作品 70 点を展示。
美術館 4 号	九州及び沖縄のグラフィックデザイン作家と一般公募による作品 151 点を展示。
美術館 4 号	グループ「きしま」の作品を展示。
美術館 4 号	久富邦夫の洋画 92 点を展示。
美術館 2, 3, 4 号	重要無形文化財保持者と日本伝統工芸展歴代の受賞者の作品で構成し, 陶芸, 染織, 漆芸, 金工, 木竹工, 人形等 170 点を展示。
美術館 2, 3, 4 号	光風会会員による絵画, 工芸等 170 点を展示。
美術館 3, 4 号	佐賀美術協会会員, 会友の作品を中心に日本画, 洋画, 彫刻, 工芸等 212 点を展示。
美術館 2, 3, 4 号	二科会会員の作品及び入選作品を絵画, 彫塑, 商業美術, 写真の 4 部門で 300 点を展示。
美術館 4 号	佐賀県写真協会会員の作品 206 点を展示。
美術館 3, 4 号	正筆会及び九州正筆会会員の書 150 点を展示。
美術館 4 号	独立美術協会佐賀支部員の作品 68 点を展示。
美術館 4 号	佐賀県書道家協会会員及び一般公募の作品 170 点を展示。
美術館 4 号	県内の勤労者から公募した美術展。絵画, 写真, 書, 工芸の 4 部門で 139 点を展示。
美術館 4 号	EVENT 会員の現代絵画 49 点を展示。
美術館 4 号	小・中・高校生及び一般公募の作品 792 点を展示。

昭和 59 年度美術館観覧状況調べ

企・画 展

	個 人			団 体			観 覧 料	
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	大人	大高
伝 統 工 芸 30 年 の あ ゆ み	7,460	650	1,343	164	79	13		
光 風 会 展	1,817	81	132	1,110	703	2,325		
佐 賀 美 術 協 会 展	2,772	489	403	85	295	446		
第 68 回 二 科 展	2,381	162	261	1,289	229	1,321		
菁 華 展 並 び に 九 州 正 筆 会 展	826	34	8					
佐 賀 県 写 真 協 会 展	946	64	26			14		
独 立 C S 展	653	79	119					
書 作 家 協 会 展	726	10	76					
佐 賀 県 勤 労 者 美 術 展	683	53	191	1		20		
E V E N T ' 8 4 絵 画 展	809	77	173					
七 夕 書 道 展	910	9	905					
東 光 会 展	2,725	486	810		232	524		
九 州 新 工 芸 展	1,798	79	397	11	50	40		
佐 賀 新 聞 学 生 書 道 展	924	47	533					
日 本 の 美	3,424	178	383	462	1,077	1,285		
佐 賀 県 高 等 学 校 芸 術 祭 美 術 書 道 展	971	450	186	3	1,210			
佐 賀 県 美 術 展	4,049	275	513	592	298	673		
エ マ 会 展	609	75	95			20		
第 26 回 総 合 展	200	136	43					
さ が 行 動 展	496	82	114					
書 初 書 道 展	935		691					
佐 賀 大 学 教 育 学 部 美 術 工 芸 科 卒 業 制 作 展	722	271	115	1		153		
九 州 グ ラ フ ィ ッ ク デ ザ イン 展	408	90	66					
第 15 回 き し ま 展	615	27	134	15				
久 留 邦 夫 回 顧 展	1,150	95	270		35			
合 計	39,009	3,999	7,987	3,733	4,208	6,834		

免除 中小	招待者	優待者	合計	開館日数	一日平均	期 間	備 考
	3,947		13,656	32	427	4/21 ~ 5/27	
	5,118		11,286	9	1,254	6/1 ~ 6/9	
			4,490	9	499	6/15 ~ 6/24	
	4,862		10,505	9	1,167	6/29 ~ 7/8	
			868	5	174	7/11 ~ 7/15	
			1,050	5	210	7/11 ~ 7/15	
			851	5	170	7/18 ~ 7/22	
			812	5	162	7/25 ~ 7/29	
			948	5	190	8/1 ~ 8/5	
			1,059	6	177	8/21 ~ 8/26	
			1,824	5	365	8/29 ~ 9/2	
	2,191		6,968	5	1,394	9/12 ~ 9/16	
			2,375	9	264	9/21 ~ 9/30	
			1,504	7	215	9/23 ~ 9/30	
	941	195	7,945	26	306	10/6 ~ 11/4	
			2,820	7	403	11/11 ~ 11/18	
	2,049	70	8,519	11	774	11/28 ~ 12/9	
			799	5	160	12/12 ~ 12/16	
			379	5	76	12/19 ~ 12/23	
			692	5	138	1/15 ~ 1/20	
			1,626	5	325	2/13 ~ 2/17	
			1,262	5	252	2/20 ~ 2/24	
			564	5	113	2/27 ~ 3/3	
			791	5	158	3/6 ~ 3/10	
			1,550	6	258	3/19 ~ 3/24	
	19,108	265	85,143	201	424		

ホール・画廊・研修室催しもの

美術館ホール利用状況

月別	利用団体数	延入場者数	音 楽	演 劇	洋舞, 邦舞	映 写 会	そ の 他
4	9	2,127人	8			1	
5	13	3,630	10	1			2
6	6	1,957	3	2			1
7	9	2,211	6	1	1	1	
8	16	6,278	9		1	5	1
9	12	2,236	9		2		1
10	18	4,329	7	3	3	4	1
11	24	6,537	13	6		1	4
12	14	3,360	3	7	3		1
1	11	2,528	9		1		1
2	8	3,077	5		1	1	1
3	15	6,555	12	2		1	
計	155	44,825	94	22	12	14	13

画廊・研修室利用状況

月別	展 覧 会			そ の 他
	利用団体数	延会期日数	入場者数	
4	1	7日	474人	1. 映 写 会 1回 2. 講 演 会 5回 3. 研 究 会 7回 (老人大学 デッサン教室) 4. 展覧会準備, 控室 26回 5. ホール催物控室 11回
5	4	17	2,168	
6	2	7	1,223	
7	0	0	0	
8	5	22	1,164	
9	2	9	1,154	
10	2	12	1,123	
11	1	10	2,367	
12	4	17	834	
1	3	14	841	
2	9	13	986	
3	6	22	1,916	
計	39	150	14,250	

# 資 料 の 概 要

— 美 術 館 —

## 1. 昭和59年度 購入資料

### (1) 美術資料

資 料 名	作 者	数 量	形 状	備 考
富士山	岡 田 三郎助	1	油彩・カンヴァス 137.3×197.5 cm	1920年
顔	北 島 浅 一	1	油彩・板 33.0× 23.2 cm	1921年
練馬風景	高 木 背 水	1	油彩・カンヴァス 80.5× 65.0 cm	1935年頃
サレジオの見える森	江 口 良	1	油彩・カンヴァス 112.0×162.0 cm	1954年
入江	江 口 良	1	油彩・カンヴァス 112.5×145.5 cm	1978年
オーベル秋意	内 山 孝	1	油彩・カンヴァス 227.5×182.5 cm	1974年
日吉町瓦焼	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 33.0× 24.0 cm	1928年
境内	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 33.0× 24.0 cm	1928年
山道(Ⅱ)	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 45.0× 33.0 cm	1932年
荷車を引く人	三 根 霞 郷	1	油彩・カンヴァス 91.0× 73.0 cm	1932年
古木のある山道	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 33.0× 45.0 cm	1932年
水溜りのある森	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 33.0× 45.0 cm	1932年
竹林	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 33.0× 45.0 cm	1934年
自画像	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 28.8× 23.0 cm	1935年
農村(Ⅱ)	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 33.0× 45.0 cm	1936年
犬のいる農家	三 根 霞 郷	1	油彩・厚 紙 33.0× 45.0 cm	1936年
陽(よう)	小 栗 潮	1	岩 給 具 ・ 紙 180.2×206.0 cm	1978年
風	村 岡 平 蔵	1	油彩・カンヴァス 145.5× 97.0 cm	1981年
テラコッタ	村 岡 平 蔵	1	油彩・カンヴァス 145.5× 97.0 cm	1981年
二人の人形の静物	甲 斐 仁 代	1	油彩・カンヴァス 53.0× 72.5 cm	1937年
静物	甲 斐 仁 代	1	油彩・カンヴァス 65.0× 80.0 cm	1962年
アトリエの午後	山 本 民 二	1	樹 脂 高 145 cm	1976年
雨	久 富 邦 夫	1	油彩・カンヴァス 130.5×162.0 cm	1982年
花鳥・山水図貼合屏風	武 富 雪 嶺	1	紙 本 着 色 128.5× 48.7 cm	不 詳
溪谷図	武 富 雪 嶺	1	紙 本 墨 画 淡 彩 134.0× 53.6 cm	不 詳
秋景山水図	高 柳 快 堂	1	紙 本 墨 絵 176.0× 93.7 cm	1888年
江ノ島	松 本 弘 二	1	油彩・カンヴァス 130.5×193.5 cm	不 詳

2. 昭和59年度 寄贈資料

(1) 美術資料

資料名	作者	数量	形状	寄贈者
何処へ	泉 湍津子	1	油彩・カンヴァス 145.6×112.0 cm	大阪府三島郡島本町 泉 湍津子
夏の海(ヴェネチア)	内山 孝	1	油彩・カンヴァス 227.5×182.5 cm	東京都国立市谷保 内山 孝
接吻	江口 良	1	油彩・カンヴァス 162.0×130.0 cm	東京都町田市鶴川 江口サワ子
静物	江口 良	1	油彩・カンヴァス 40.8× 31.5 cm	"
静物	江口 良	1	油彩・カンヴァス 33.3× 24.0 cm	"
阿良里(西伊豆)	江口 良	1	油彩・カンヴァス 15.9× 22.8 cm	"
雪景	三根霞郷	1	油彩・カンヴァス 73.0× 91.0 cm	神埼郡千代田町境原 修山三知子 下関市大字蒲生野 原 得一
雪景	三根霞郷	1	油彩・カンヴァス 46.0× 61.0 cm	"
伏見の酒倉	三根霞郷	1	油彩・カンヴァス 50.0× 65.5 cm	"
後向きの裸婦	三根霞郷	1	油彩・カンヴァス 72.5× 50.0 cm	"
湖と林	三根霞郷	1	油彩・カンヴァス 33.1× 45.5 cm	"
原野(Ⅱ)	三根霞郷	1	油 彩 ・ 厚 紙 23.7× 32.5 cm	"
阿寒湖(Ⅱ)	三根霞郷	1	油 彩 ・ 厚 紙 23.7× 32.4 cm	"
巨樹のある雪庭	三根霞郷	1	油 彩 ・ 厚 紙 33.5× 45.5 cm	"
池のある風景	三根霞郷	1	油彩・カンヴァス 33.2× 45.3 cm	"
油彩画	三根霞郷	4	カンヴァス・厚紙 33.0× 45.0 cm	"
油彩画	三根霞郷	11	カンヴァス・厚紙・板 23.5× 33.0 cm	"
水彩画	三根霞郷	16	水彩・紙	"
木炭画	三根霞郷	149	木炭・紙	"
団扇図	三根霞郷	6		"
掛軸	三根霞郷	3		"
関係資料	三根霞郷	15件		"
ぼたん	小栗 潮	1	紙 本 着 色 54.7× 79.1 cm	東京都東大和市狭山 小栗 潮
むすび	中島快彦	1	セ メ ン ト 高 167.5 cm	東京都豊島区巣鴨 中島 萬茅
顔	中島快彦	1	セ メ ン ト 高 51.0 cm	"
杖(岡田三郎助愛用)		1	木 長さ 90.5 cm 製	東京都中野区江古田 田村一男

### 3. 昭和59年度 寄託資料

#### (1) 美術資料

資料名	作者	数量	形状	寄託者
斎藤利昌像	岡田三郎助	1	油彩・カンヴァス 42.7×33.5 cm	東京都杉並区浜田山 斎藤利忠
斎藤利和像	岡田三郎助	1	油彩・カンヴァス 46.3×33.9 cm	"
出湯の宿	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 60.5×45.6 cm	茨城県日立市石名坂町 西 幾多
麦と黒	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 116.5×91.2 cm	"
木立	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 31.6×41.0 cm	"
自画像	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 53.4×45.7 cm	茨城県新治郡桜村 山口千里
てっぽうやり	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 64.6×80.0 cm	"
庭の雪	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 64.8×80.0 cm	"
ほし魚と竹の子	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 38.0×45.4 cm	"
庭	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 49.5×60.5 cm	"
ぼたん	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 24.4×33.3 cm	"
末頃(おわるころ)	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 95.7×80.2 cm	"
加喜	山口亮一	1	油彩・厚紙 24.2×33.3 cm	"
童女像	山口亮一	1	油彩・厚紙 45.2×37.9 cm	東京都豊島区巢鴨 中島萬茅
筑紫野	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 45.5×116.4 cm	"
N氏像	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 45.5×37.6 cm	"
ふな	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 53.0×45.5 cm	"
種	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 53.0×45.5 cm	"
畑仕事	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 37.8×45.5 cm	"
街	山口亮一	1	油彩・板 33.0×23.5 cm	"
静物(花)	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 80.0×65.0 cm	"
静物(花)	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 29.8×59.8 cm	"
静物(葡萄)	山口亮一	1	油彩・カンヴァス 24.5×41.0 cm	"

#### 4. 昭和59年度 管理換えによる受入資料

##### (1) 美術資料

資料名	作者	数量	品質・形状	備考
午後 問わず語り	西澤秀行	1	油彩・カンヴァス 162.2×130.3 cm	昭和59年
トルソ	牛丸和人	1	岩絵具・紙 162.0×130.6 cm	"
孫逖の詩	古賀義治	1	石 コ ウ 高 154.5 cm	"
	片岡泉	1	紙本墨書 224.3× 51.4 cm	"

#### 佐賀県博物館・美術館協議会委員名簿（定員15名）

区分	氏名	役職（現職名）	〒	住所
社会学関係 学校 教育者	山下達雄	佐賀県公民館連合会会長	840	佐賀市愛敬町4-10
	中村司	佐賀県商業学校区代表	841	鳥栖市古野町561の2
	三浦紀二郎	佐賀県小・中学校長会代表	840-23	佐賀郡東与賀町大字飯盛1195
学 識 経 験 者	佐藤久子	佐賀県婦人連絡協議会会長	849-41	西松浦郡西有田町山谷乙231
	大塚巖	佐賀県文化団体協議会会長	840	佐賀市本庄町本庄宮前1137-23
	栗山重司	佐賀県理科教育振興会代表	840-03	佐賀市金立町薬師丸981
	三好不二雄	佐賀大学名誉教授	840	佐賀市赤松町11-11
	石本秀雄	佐賀大学名誉教授 日展評議員	840	佐賀市中ノ小路9-29
	山本民二	佐賀大学教育学部教授	840	佐賀市中ノ館4-3
	平田寛	九州大学文学部教授	811-34	福岡県宗像市日の里5-3-31
	岩永京吉	佐賀県美術協会会長 佐賀大学名誉教授	849-13	鹿島市大手565-1
	岡崎敬	九州大学文学部教授	813	福岡市東区香住ヶ丘3-20-15
	米倉利昭	佐賀大学教育学部教授	840	佐賀市本庄町本庄528-1
	矢野正治	佐賀県議会議員	849-13	鹿島市高津原3612-4
	稲田繁生	佐賀新聞社編集局長	840	佐賀市北川副町光法1499-16

#### 佐賀県博物館及び美術館協議会開催状況

59. 6. 22

- 議題 (1) 昭和59年度事業計画について  
(2) 昭和59年度予算について  
(3) その他

60. 3. 9

- 議題 (1) 昭和60年度事業計画案について  
(2) 昭和60年度予算案について  
(3) その他

職員名簿（昭 60. 4. 1 現在）

	職 名	氏 名		職 名	氏 名		
館 長		大 塚 正 道	学芸課	学 芸 課 長	小 宮 睦 之		
副 館 長		神 宮 忠 義		資 料 係	資 料 係 長	森 醇 一 朗	
総 務 課	総 務 課 長	池 田 清 八			主 査	藤 口 健 二	
	庶務管理係長	秀 島 智 洋			主 査	宮 原 香 苗	
	主 査	古 川 宣 明			学 芸 員	福 井 尚 寿	
	主 事	山 田 洋 子			非常勤嘱託	浜 野 四 郎	
	主 事	中 村 美 沙 子			企 画 普 及 係	企 画 普 及 係 長	小 宮 睦 之
	主 事	大 島 暁 夫				企 画 普 及 係 取 扱 事 務 員	田 中 裕
	主 事	石 田 誠				学 芸 員 補	松 本 誠 一
	事 務 員	坂 井 卓 次				学 芸 員	大 隈 博 文
	事 務 員	小 石 武 彦				学 芸 員	山 崎 和 文
	技 術 員	戸 川 内 匠					
非常勤嘱託	穉 月 勝 次						



佐賀県立博物館 年報 第15号  
佐賀県立美術館

発行年月日 昭和 60 年 7 月 1 日

編集発行 佐賀市城内1丁目15-23

佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館

印刷 誠文堂印刷株式会社